No. 1

第三国集団研修事前調査団報告書

―スリランカＴＶ放送技術―

昭和63年４月

国際協力事業団
研修事業部

研管
ＪＲ
89－13

第三国集団研修事前調査団報告書

―スリランカＴＶ放送技術―

JICA LIBRARY
1075313[5]
19385

昭和63年 4 月

国 際 協 力 事 業 団
研 修 事 業 部

国際協力事業団
19385

序　　　文

第三国研修とは、社会的、文化的、今後的に共通の基盤をもつ一定の開発途上地域に研修実施国を選定し、そこに当該地域内の途上国からの研修員を受入れて、より現地事情に適合した技術、知識の転換を図り、これにより、開発途上国間協力の推進に寄与することを目的としている。昭和４９年度、タコのコラート養蚕研究訓練センターで初めて実施して以来、年々、第三国研修実施協力要請は増え続け、昭和６２年度には１６ケ国で、３６コースを実施した。

スリランカにおける初の第三国集団研修新規コース「ＴＶ放送技術」の実施についてスリランカ政府関係者と協議を行い、第三国研修実施計画を策定し、この結果をミニッツにとりまとめ、スリランカ側と署名・交換するべく昭和６３年２月２４日から３月５日（１１日間）まで事前調査団を派遣した。本報告書はその調査結果・協議内容を取りまとめたものである。

本件の実施についてご協力を賜わった外務省、郵政省、日本放送協会及び在外公館に深甚な謝意を表する次第である。

昭和６３年４月

研修事業本部

目　　次

1．事前調査団の派遣……1
1－1　派遣の経緯と目的……1
1－2　調査団の構成……2
1－3　調査日程……2
1－4　主要面談者……4

2．要請の背景……5
2－1　周辺国のニーズ……5
2－2　実施国における当該分野の現状……5

3．要請の内容……6
3－1　コース名……6
3－2　目　　的……6
3－3　到達目標……6
3－4　実施時期及び期間……6
3－5　カリキュラム……6
3－6　割 当 国……8
3－7　定　　員……8
3－8　応募資格……8

4．第三国集団研修実施体制……9
4－1　実施期間の組織及び事業概要……9
4－2　実施期間の研修指導能力……17
4－3　実施期間の研修運営管理能力……17
4－4　実施期間の建物・施設機材……20
4－5　第三国集団研修の実行予算……20

5．日本の他の経済協力との関係……21
6．当該分野に対する他の先進国の協力概要……28
7．第三国集団研修実施の妥当性……29

8、日本側の協力……33
8－1　協力の目的と必要性……33
8－2　経費分担……33
8－3　専門家派遣……35
8－4　カウンターパート受入れ……35
8－5　機材供与……35

9．実施上の留意事項……37

（付属資料）
・ミニッツ……41
・予定単独機材リスト……58
・関連本邦研修の研修員受入実績……61
・関連本邦研修への参加研修員リスト……65

1．事前調査団の派遣制作

1－1　派遣の経緯と目的

スリ・ランカ国におけるテレビ放送強化のため、同国政府は、国営ルパバヒニＴＶ放送局に対する施設の供与と技術協力を我が国に要請してきた。この要請を受けて、昭和５７年２月無償資金協力により、新鋭スタジオ設備の建設ならびに放送機器の設置を完了した（３７億円）。同時に短期ならびに長期の専門家派遣とカウンターパート研修員の受入等の技術協力を開始し、相当の成果を挙げつつ現在に至っている。

ルパヒニＴＶ放送局スタッフの技術習得意欲は大変旺盛であり、かつ能率的な運営組織を有していることもあって、技術移転は順調に進み、供与された施設ならびに機器類は現在「ス」側スタッフの手により運用され、フルに稼働している状況である。この様な経過を経て、ルパバビニＴＶ放送局スタッフの、番組制作を含む技術力は今や、相当の水準に達しており、ＴＶ放送局としての総合的な能力という点においても指導的立場に立ち得る実力を有するに到った。

他方、南西アジア地域においては、各国ともＴＶ放送のための良質の技術要員が不足しており、設備や機器の新鋭化、番組制作能力の協力等も思うに任せず技術要員の養成が強く求められる状況に置かれている。

この様な状況下にあって「ス」政府は、南西アジア地域内の各国事情にあって、良質の情報を国民に提供するメディアの確立は極めて重要であるとの観点から、域内各国のＴＶ放送技術要員養成を、自国の新鋭設備と技術陣を提供して実施することとし、我が国に対して、第三国研修実施のための協力につき要請がなされた。

本調査団は、以上の背景と「ス」国政府の要請に基づき、「ス」国ルパバヒニＴＶ放送局において第三国研修を実施するにつき、要請内容の確認と実施の可能性につき調査することを主目的として派遣された。又、本件については、先行して実施中の専門家派遣を通じて詳細になる関連情報を事前に入手しており、これらの情報をベースに、外務省、郵政省、ＪＩＣＡならびにＮＨＫにてあらかじめ本件協力の枠組につき検討がなされ、協力案の骨子が準備されたいきさつがある。本調査団の現地調査の結果が、あらかじめの検討内容と大旨一致する場合には、在外公館ならびに本部と打合せのうえ、協力計画の概要案につき「ス」側と協議し、Ｒ／Ｄ案をとりまとめる等可能な範囲で実施促進を図ることとした。

1－2　調査団の構成

担　当	所　　属	氏　名
	ＪＩＣＡ　大阪国際研修センター　研修課課長	和　田　欽次郎
研修企画	外　務　省　経済協力局　　　技術協力課	神　崎　義　雄
研修計画	ＮＨＫ　　企画本部総合企画室	中　川　正　己
研修運営	ＪＩＣＡ　研修事業部　　　研修第２課課長代理	松　本　博　之

1－3　調　査　日　程

月／日	曜日	場　所	内　容
２／２５	（水）	機　内	１３：０５　東京発（ＪＡＬ 719便） １９：１０　シンガポール空港着 ２３：００　仝上発（ＳＱ 028便）
２／２５	（木）	コロンボ	００：４０　コロンボ空港着 ０２：３０　ホテルチェックイン ０８：３０　ＪＩＣＡ事務所表敬及び日程打合わせ １１：００　日本大使館表敬及び打合わせ １４：００　調査団内意見交換会開催
２／２６	（金）	ＳＬＲＣ	１０：００　大蔵企画省表敬及び来訪趣旨説明 １１：００　外務省表敬及び来訪趣旨説明 １４：００　スリランカ　ルパバヒニ放送局（ＳＬＲＣ）表敬、来訪趣旨説明及び日程につき意見交換等
２／２７	（土）	ＳＬＲＣ	１０：００　情報省表敬及び来訪趣旨説明 １１：００～１５：３０　ＳＬＲＣ行、第三国研修実施に伴う個々の事項について協議 １４：００　スリランカＴＶ研修所見学
２／２８	（日）	ＫＡＮＤＹ地方	０９：００　ホテル発（マイクロバス） １１：３０　ＫＡＮＤＹ着 キャンディTRANSMITTING STATION見学 １３：３０　キャンディ地区諸文化施設見学 ２１：００　ホテル帰着
２／２９	（月）	ＳＬＲＣ	０８：３０～１７００　終日ＳＬＲＣにて第三国研修細目協議

				仝上　本日ミニッツ案作成・内容検討協議。第三国研修に係る保険や公金口座開設についても関係者より意見聴取
3／　1	(火)	ＳＬＲＣ	０８：３０	ホテル発
			０９：００ ～１２：００	調査団内意見交換会開催
			１３：００ ～１７：００	ミニッツ案作成等
			１９：３０ ～２１：００	調査団主催懇親パーティ開催（ホテルヒルトン）
3／　2	(水)	ＳＬＲＣその他	０９：４５ ～１２：００	ミニッツ案についてスリランカ側と協議
			１２：００ ～１３：３０	ＳＬＲＣ主催昼食会
			１４：００ ～１５：００	ミニッツ署名
			１５：３０ ～１７：００	日本大使館報告 ＪＩＣＡ事務所報告
			１９：００ ～２１：００	日本大使主催夕食会
3／　3	(木)	ＳＬＲＣその他	０９：３０	大蔵企画省へ報告及び帰国挨拶
			１０：３０	外務省へ報告及び帰国挨拶
			１４：００～	ＳＬＲＣへ帰国挨拶（団長と神崎氏）
3／　4	(金)	情　報　省	０９：３０	情報省へ報告及び帰国挨拶
			１３：２５	コロンボ発（ＴＧ 308）
			１８：１０	バンコック着（一泊）
3／　5	(土)		１１：１５	バンコック発（ＴＧ 308）
			１９：１０	東京着

1－4 主要面談者

1．MR A NAVARATNE		CHAIRMAN SLRC （※1）
2．MR I H GUNARATNE	※	DEPUTY DIRECTOR GENERAL, EDUCATIONAL PROGRAMMES, SLRC
3．MR SHIRLEY PERERA		DEPUTY DIRECTOR GENERAL, COMMERCIAL AND NEWS
4．MR SHANTHI KUMAR DE FONSEKA		DIRECTOR ENGINEERING (MAINTENANCE)
5．MR SATHKUNARAJAH		FINANCE MANAGER SLRC
6．DR PIYASOMA MENDIS	※	DIRECTOR SLTTI （※2）
7．MR ABEYDYLLA		DIRECTOR ADMINISTRATION SLRC
8．MR HARTLEY FERNANDO		DIRECTOR ENGINEERING (TRAINING) SLRC
9．MR C R M ABEYNAIKE		DIRECTOR ENGINEERING (STUDIOS) SLRC
10．MR SAMARANAYAKE		DIRECTOR EDUCATIONAL PROGRAMMES SLRC
11．MR UPALI S ARAMBEWALE		ENGINEERING MAINTENANCE AND SATELLITE, SLRC
12．MR GAMINI PEDRIS		WORKING DIRECTOR SLRC
13．MR W WICKRAMA		ASSISTANT DIRECTOR PUBLIC RELATIONS SLRC
14．MR W A D PERERA		ENGINEER (POWER AND AIR CONDITIONING)
15．MR JAYANTHA WICKREMASINGHE		ENGINEER (TRANSMITTER) SLRC
16．MR RAJA LINGHAM		DIRECTOR, ECONOMIC AFFAIRS BUREAU, MINISTRY OF FOREING AFFAIRS
17．MR H K BANDERA		DEPUTY DIRECTOR, ECONOMIC AFFAIRS, MINISTRY OF FOREING AFFAIRS
18．DR A GUNESEKARA		SECRETARY, MINISTRY OF INFORMATION
19．MR M A MOHAMED		DIRECTOR, DEPARTMENT OF EXTERNAL RESOURCES, MINISTRY OF FINANCE AND PLANNING
20．MR JAYASENA		DEPUTY-DIRECTOR-GENERAL GENERAL PROGRAMMES SLRC

※SLRC ：SRI LANKA, RUPAVAHINI CORPORATION
（スリランカ　ルパバヒニ放送局）

※SLTTI ：SRI LANKA TELEVISION TRAINING INSTITUTE
（スリランカ　テレビ研修所）

2．要請の背景

2－1　周辺国のニーズ

周辺国において通常運用しているＥＮＧ機材の修理・保守に関しては、各国放送局が自力で保守する事が必須である。各国において保守要員は不足しており、その要員育成の意味において中堅指導層を育てる事は重要である。

最新のＥＮＧ機材は、周辺国では未だ運用するにいたらず、将来の設備更新に備え研修を受けた人材を確保することは非常に有意義である。

一方、最近の放送設備のディジタル化にともない、ディジタル技術の研修ニーズも大いにある。

2－2　実施国における当該分野の現状

ＳＬＲＣは日本からの継続的な援助によるテレビ放送設備を有し、周辺国のそれに比べて完備しているといえる。ハードウェアの充実のみならずスリランカのテレビ放送に関する援助の中には、研修生の日本への受入れ、短期・長期派遣専門家のスリランカへの派遣等があり、それらが効を奏し放送開始６年にもかかわらず、放送機関として充分機能している。当該分野であるテレビ放送技術に着目すれば、今まで１７名の研修生が日本で研修を受け、４名の長期専門家をＳＬＲＣに派遣した事により、技術移転が効果的に行われ、完備したテレビ放送設備を運用・保守する技術要員のレベルは高い。

3．要請の内容（第三国集団研修基本計画）

3－1　コ　ー　ス　名

ＴＶ放送技術（ＴＶ BROADCASTING ENGINEERING ）で当初要請があがったが調査団とスリランカ側関係者との協議の結果、カラーＴＶ技術国際研修コース（INTERNATIONAL TRAINING COURES ON COLOUR TELEVISION ENGINEERING ）とする事と決定した。

3－2　目　　　的

このコースの創設により「南西アジア諸国の研修員に対してカラーＴＶ技術分野における最新の関連技術や知識を身につけさせることを主目的とする。」ということで合意した。

3－3　到　達　目　標

・現用ＥＮＧ機材の保守についてのより高度な技術の修得。

・最新ＥＮＧ機材の動作原理ならびに運用技術の修得。

・ディジタル技術を修得し、放送設備のディジタル化に対応できる人材の育成。

3－4　実施時期及び期間

第一回のコースは1988年１０月１５日より同年１１月２７日までの４４日間とすることで合意した。

3－5　カリキュラム

第一週	午前（９：00～12：00）	午後（13：00～16：00）
月	開講式	オリエンテーション
火	カラーＴＶ標準方式（ＰＡＬ）	ＲＬＲＣ視察
水	カラーＴＶ標準方式（ＰＡＬ）	ＳＬＴＴＩ視察
木	カラーＴＶ標準方式 （PAL/SECAM/NTSC）	ＥＮＧ保守概論（カメラ）
金	ＥＮＧ保守概論（ＶＴＲ）	ＢＥＴＡＣＡＭの取扱説明
土	新放送技術概論（ＨＤＴＶ）	

第二週	午前（９：00～12：00）	午後（13：00～16：00）
月	ＢＥＴＡＣＡＭ講義	ＢＥＡＴＣＡＭの取扱説明
火	同上（撮像部）	実習(a) カメラ保守技術

		(b) ＥＮＧ取材
水	同上（信号処理）	同上
木	同上（エンコーディング）	同上
金	同上（編集機）	同上
土	新放送技術概論（ＤＢＳ）	

第三週	午前（９：00～12：00）	午後（13：00～16：00）
月	ＢＥＴＡＣＡＭ講義 （ＶＴＲ部のブロック図）	実習(a) ＶＴＲ保守技術 (b) ＥＮＧ取材
火	同上（記録技術）	同上
水	同上（再生技術）	同上
木	同上（編集技術）	同上
金	スタジオ技術研修（番組制作）	
土	スタジオ技術研修（番組制作）	

第四週	午前（９：00～12：00）	午後（13：00～16：00）
月	ディジタル技術講義（基礎）	実習（ディジタル回路基礎）
火	同上（ディジタル回路）	実習（ディジタル回路）
水	同上（Ａ／Ｄ，Ｄ／Ａコンバータ）	実習（Ａ／Ｄ，Ａ／Ｄコンバータ）
木	同上（ディジタル信号処理）	実習（タイムベースコレクタ）
金	テレビ送信所視察	
土	テレビ送信所視察	

第五週	午前（９：00～12：00）	午後（13：00～16：00）
月	マイクロプロセッサ講義	実習（マイコントレーニングキット）
火	同上（プログラミング）	同上
水	同上（Ｉ／Ｏ技術）	同上
木	同上（ＤＭＡ）	同上
金	同上（周辺機器）	同上
土	ディジタルＴＶ標準方式	

第六週	午前（９：00～12：00）	午後（12：00～16：00）
月	パーソナルコンピュータ（機能説明）	実習（パーソナル・コンピュータ）

火	同上（プログラム言語）	同上
水	同上（ソフトウエア・パッケイジ）	同上
木		報告書作成
金	Q＆A	閉講式

3－6 割　当　国

ビルマ、バングラデシュ、インド、パキスタン、ネパール、ブータン、モルデイブの７ケ国より研修員を招聘することで合意した。

ビルマについては同国に対するこの分野の協力の必要性から、我が方より推挙した。

3－7 定　　員 15人（内実施国３人）（最大定員）

即ち、上記７ケ国からの研修生は計12名とし、スリランカ国は３名とする。したがって最大定員は15名となる

3－8 応 募 資 格

1　応募国政府からの指名者であること

2　電子工学専攻の大卒者あるいは同等の学歴を有する者

3　放送機関に所属する技術者で且つ現在ＴＶ機器の操作・保守管理にたずさわっている者

4　３年以上の実務経験者

5　原則として40才以下の者

6　十分な英語能力を有する者

7　研修を完遂するに十分な心身共に健康な者

以上が必要な資格条件として合意された。

4．第三国集団研修実施体制

4－1　実施機関の組織及び事業概要

名　　　称	スリランカ国営テレビ放送局		
	SRI LANKA RUPAVAMINI CORPORATION (SLRC)		
開　　　局	1982年2月15日		
	日本の無償資金協力（37億円）		
予　　　算	収　入	約10億円	
	支　出	約 9.6億円（1985年度）	
職　員　数	約 800名		
放送時間	教育放送	9：30～12：30	
	一般放送	17：00～23：00	
主な施設	テレビスタジオ	2室（200m², 100m²）	
	ダビングスタジオ	1室	
	大型中継車	1台	
	小型中継車	1台	
	中継用マイクロ設備	3対向	
	テレビカメラ	15台	
	1インチVTR	5台	
	編集装置	5式	
	送信設備	20Kw放送局	2局
		50W　放送局	1局
		（全国の85％をカバー）	
追加拡充工事	1986年2月完成		
	日本の無償資金協力（14.5億円）		
	テレビスタジオ	1室（400m², スタジオカメラ3台）	
	送信設備	200w放送局	1局
		50w放送局	1局
	編集設備	6式	

経営状況

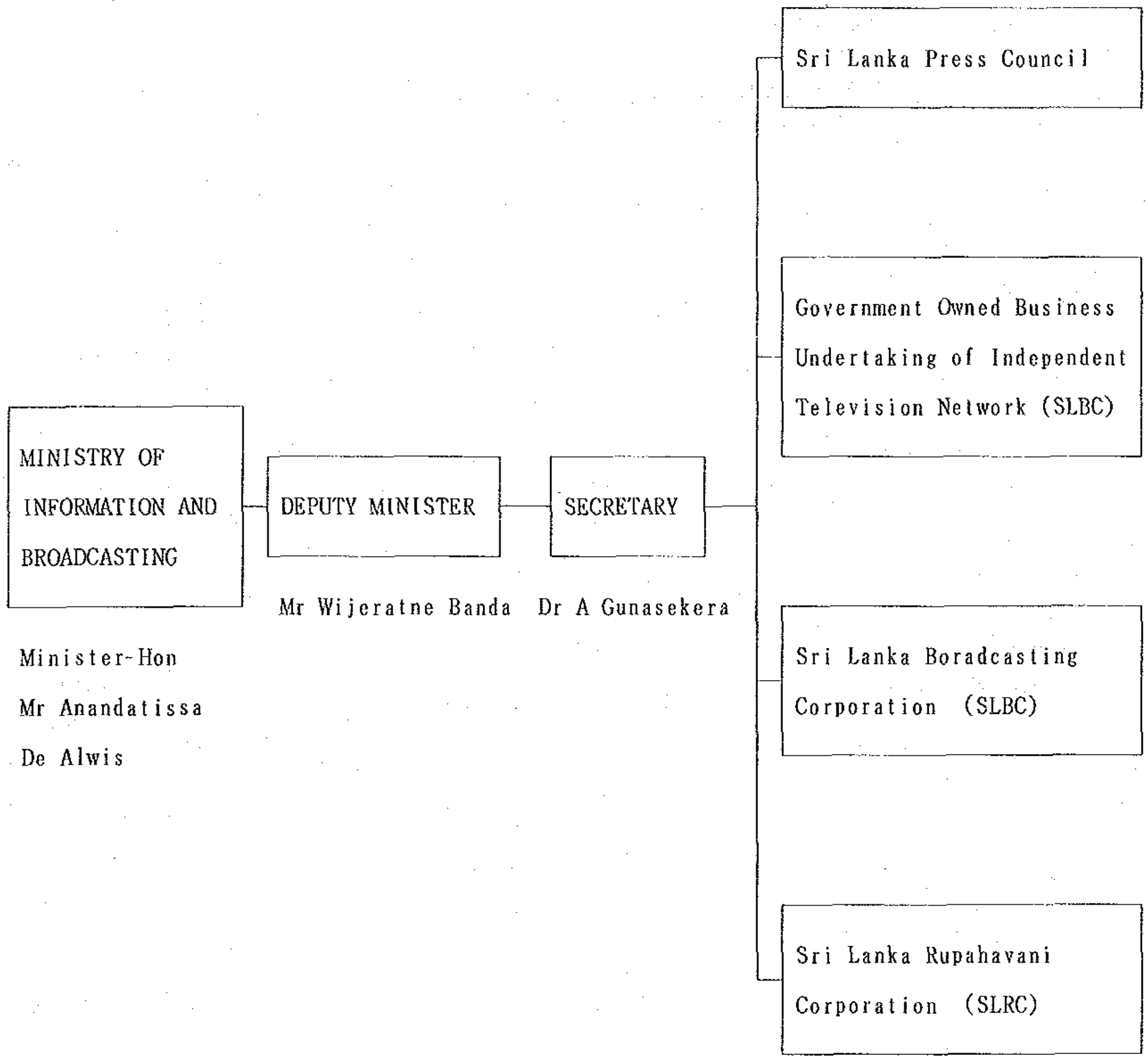
1982年度においては支出超過であったが、1984年度については広告料、受信料ともに2倍近い増収が見込まれ、収益をあげている。1984年度の予算編成は下記のとおりとなっている。

広告料等収入	Rs	28,756,800
受信料収入		27,650,000
投資利益		6,405,000
教育テレビ放送助成金		3,500,000
その他		99,200
（総収入）	Rs	66,411,000
		（約4億 645百万円）
一般管理費	Rs	6,513,594
番組制作費		21,984,063
技術経費		9,805,962
減価償却費		19,000,000
広告制作外注費		4,995,485
研修費		1,479,722
（総支出）	Rs	63,778,826
		（約4億4千7百万円）
（利　益）	Rs	2,632,174
		（約 148百万円）

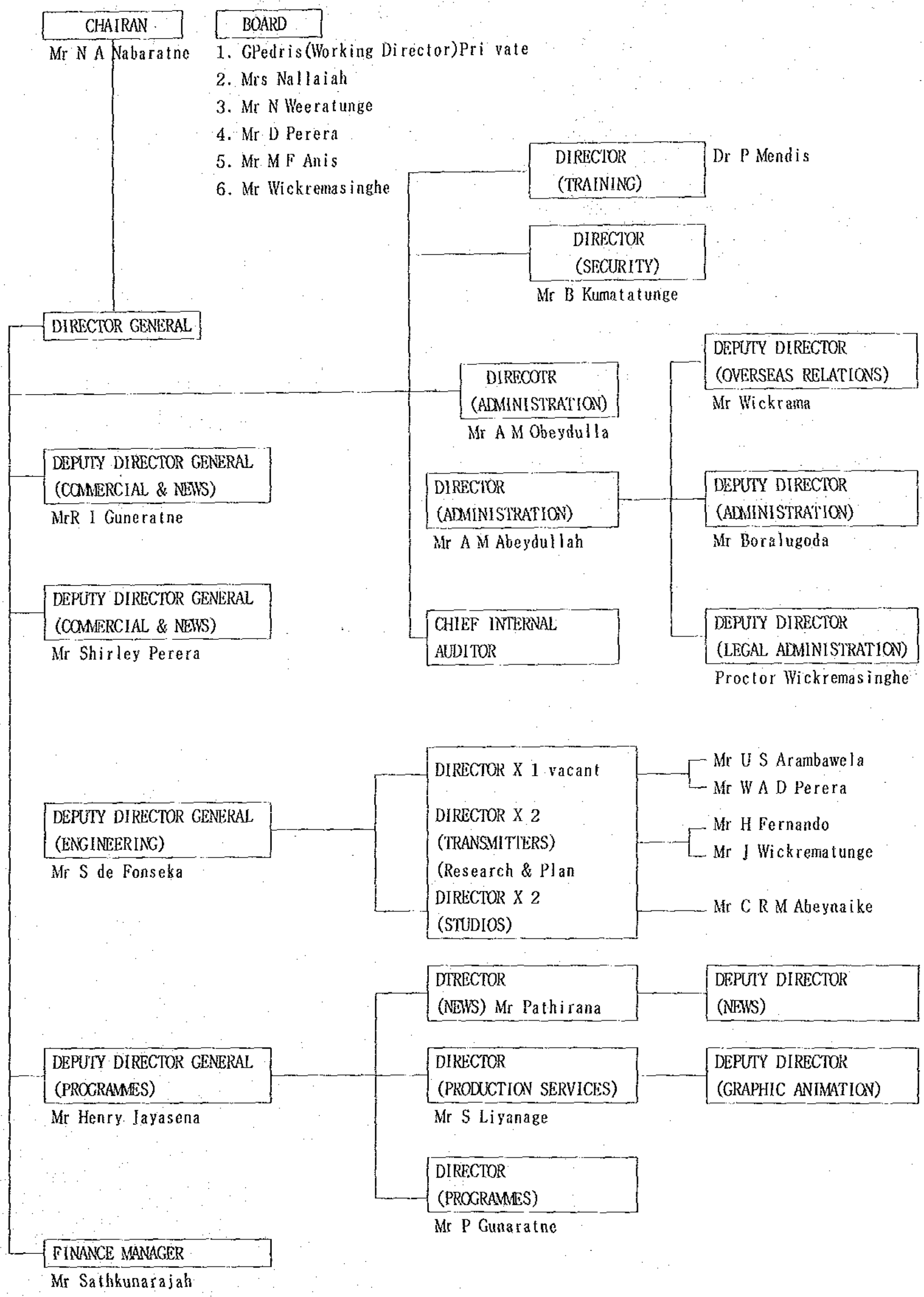
Rs ：スリランカルピー　　　（１０ルピーは７円である。）

第3表　スリランカ国営テレビ放送局（ＳＬＲＣ）の予算（1984年）

ORGANIZATION CHART-MINISTRY OF INFORMATION & BROADCASTING



ORGANIZATION OF SRI LANKA RUPAVAHINI (TV) CORPORATION



スリランカ国の放送の沿革

1925年	ラジオ放送開始
1966年	スリランカ国営ラジオ放送局（ＳＬＢＣ）開局 現在 150名体制で中波、短波、ＦＭ局の運用・放送を行っている。
1969年	スリランカ独立テレビ局（ＩＴＮ、国営）開局 現在３６名体制でコロンボ市を中心に１km放送機を使用してテレビ放送を行っている。
1981年 ２月１５日	スリランカ国営テレビ局（ＳＬＲＣ）開局 ＳＬＢＣの協力で日本の無償資金協力（３７億円）を中心にして独立された。現在800名体制で全国規模のテレビ放送を行っている。
1984年	スリランカテレビ放送研修所（ＳＬＴＴＩ）開所 スリランカファンド（西独）から分離独立したものであるが、現在も２名の専門家が西独から派遣されている。職員数約１０名でスリランカ国営テレビ局職員の研修を行っている。

スリランカテレビジョン放送局設立計画

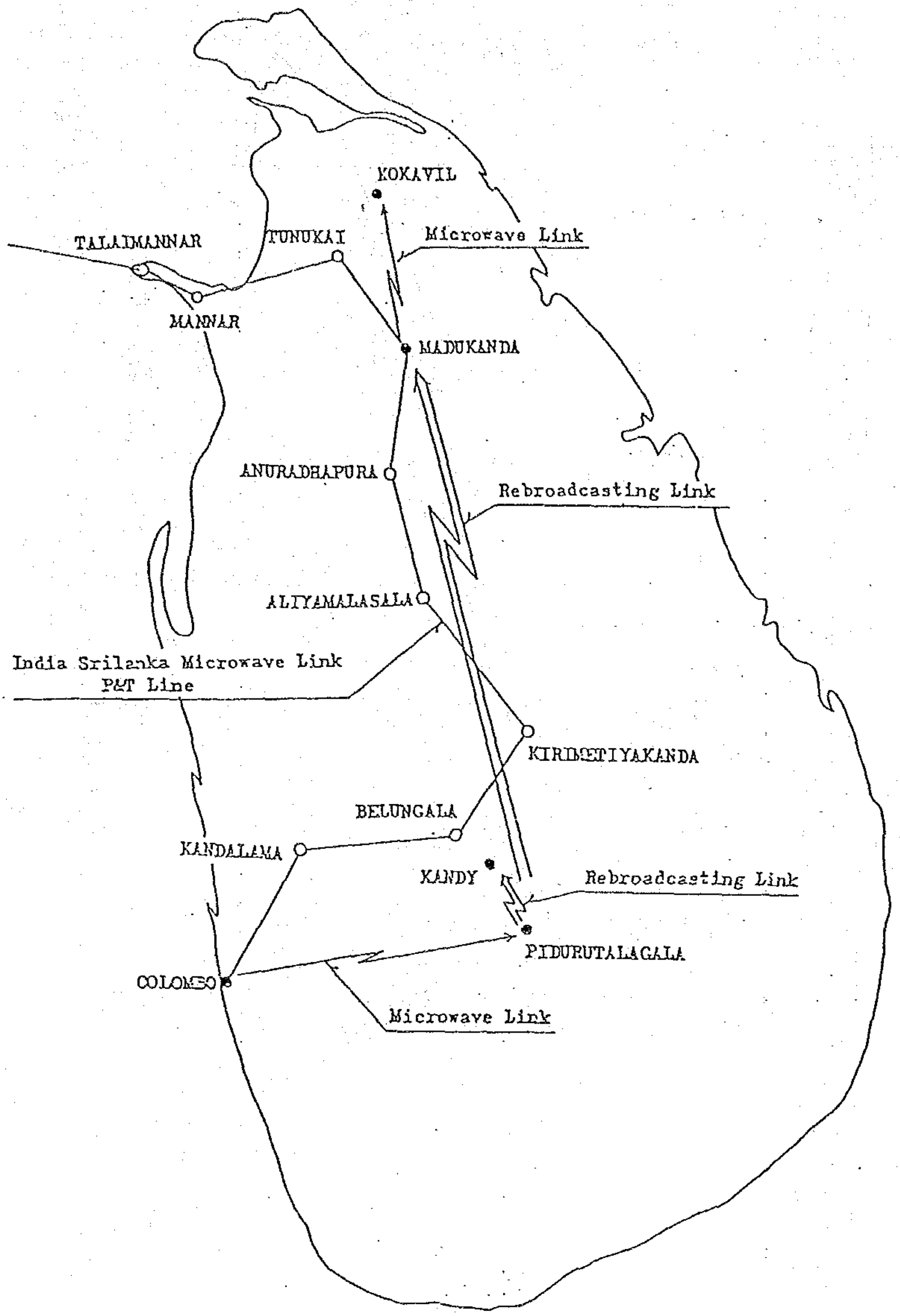
プロジェクト成立の経緯・背景

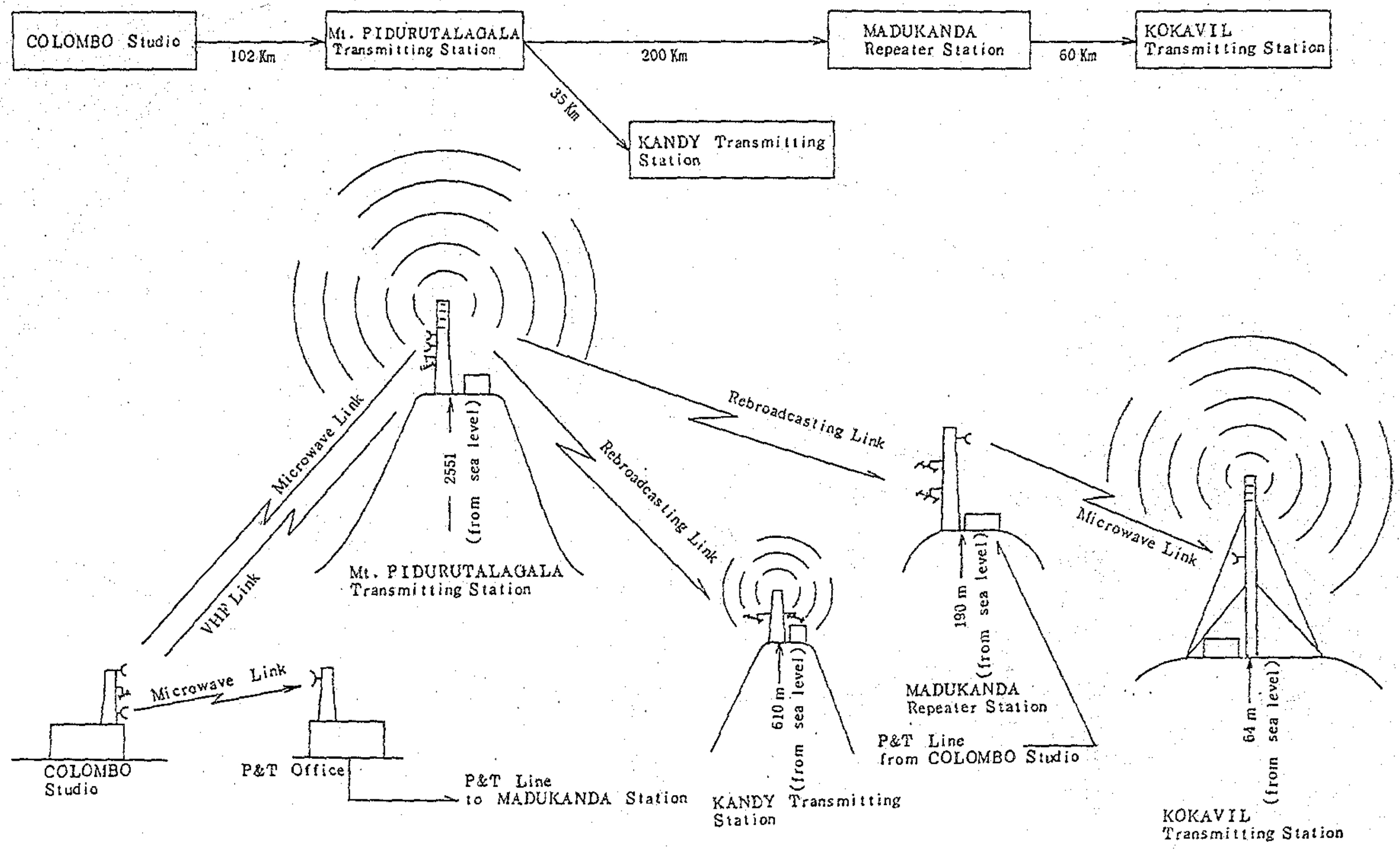
プロジェクト関連年表

1967	西独政府ＴＶ放送網設立のための無償資金協力を提案
1977	専門家委員会勧告に基づきＴＶ放送網に関するスリランカ政府の方針決定
1977.12	スリランカ政府、日本大使館に対しＴＶ放送網設立のための無償資金協力の可能性を打診
1978. 5	ＪＩＣＡ事前調査団派遣
1978.12	ＪＩＣＡ基本設計調査派遣
1979. 3	国家ＴＶ計画センター（ＮＴＰＣ）設立）
1979. 4	ＩＴＮ（Independent Television Network）社カラーテレビ放送開始
1979. 7	Ｅ／Ｎ署名（第１期工事分）
1980. 3	着　工
1980. 6	Ｅ／Ｎ署名（第２期工事分）
1981. 4	ＮＴＰＣ全日制訓練コース開始
1981.10	受入れ試験開始
1981.10	英国女王スリランカ訪問、最初の生放送開始
1981.11	竣　工
1982. 1	スリランカRupavahini法、1982年法律第６号承認

1982. 1	同法施行、スリランカRupavahini公社（ＳＬＲＣ）設立
1982. 2	ＲＬＲＣ本放送開始
1982. 3	第１回教育番組試験放送
1982.10	第２回教育番組試験放送
1983. 5	教育放送本放送開始
1984. 1	Asia Vision ニュース番組交換開始
1984. 2	第２次無償資金協力基本設計調査団派遣
1984.10	スリランカテレビジョン訓練機関（ＳＬＴＴＩ）開所
1986. 2	第３スタジオ、新３階建てビル完成
1986. 4	ＳＬＲＣ土曜午後放送開始

放 送 網(1)


KOKAVIL
Microwave Link
TALAIMANNAR
TUNUKAI
MANNAR
MADUKANDA
ANURADHAPURA
Rebroadcasting Link
ALIYAMALASALA
India Srilanka Microwave Link
P&T Line
KIRIMETIYAKANDA
BELUNGALA
KANDALAMA
KANDY
Rebroadcasting Link
PIDURUTALAGALA
COLOMBO
Microwave Link


COLOMBO Studio
102 Km
Mt. PIDURUTALAGALA Transmitting Station
200 Km
MADUKANDA Repeater Station
60 Km
KOKAVIL Transmitting Station
35 Km
KANDY Transmitting Station
Microwave Link
VHF Link
2551 (from sea level)
Mt. PIDURUTALAGALA Transmitting Station
Rebroadcasting Link
Rebroadcasting Link
Microwave Link
190 m (from sea level)
MADUKANDA Repeater Station
P&T Line from COLOMBO Studio
610 m (from sea level)
KANDY Transmitting Station
64 m (from sea level)
KOKAVIL Transmitting Station
Microwave Link
COLOMBO Studio
P&T Office
P&T Line to MADUKANDA Station

4－2　実施機関の研修指導能力

周辺国と比較して放送設備が完備しており、それらの設備を運用・保守するＳＬＲＣの技術要員のレベルは高い。ＳＬＲＣの技術部門の指導者の中で、当該研修における講義担当予定者（４名）はつぎのとおり：

(1) Mr. S. de Fonseka　B. Sc Eng.（スリランカ）
Director, Engineering (Maintenance)

(2) Mr. C.R.M. Abeynaike　B. Sc Eng.（スリランカ）
Direcor, Engineering(Studio)　M. Sc Eng.（スリランカ）

(3) Mr. U.S. Arambewale　B. Sc Eng.（英国）
Engineer (Maintenance & Satellite)

(4) Mr. G.D.J. Wickremasinghe　M. Sc Eng.（スリランカ）
Engineer (Transmitters Division)

外部講師（短期専門家派遣）としては、上記講師を補佐する意味でＥＮＧ関係１名、ディジル技術関係１名　計２名が必要である。

4－3　実施機関の研修運営管理能力

研修実施機関であるルパバヒニＴＶ局は、約 170名の技術スタッフを有しており、技術レベルも高いと判断される。

本件研修についても一部の項目を除き現在本局にて稼働中の同ＴＶ局スタッフで行えるとの説明があり技術スタッフのリストによれば、エンジニアクラスの人材研修指導能力は、問題ないと判断される。

事務管理組織については、本件研修のための事務局を別途設置（調査団派遣時に事務局責任者を決定済）し、研修にあたる事を先方が約した。

又、研修経費面についても、FINANCE MANAGER が、本研修経費専用の銀行口座を開設し、経費の管理については独立の別途勘定としたい旨述べた。

以上のことから、技術面及び事務面からも運営管理能力は問題がないと判断される。

スリランカ国営放送局収支状況

（単位：Rs）

	1982	1983	1984	1985
収入	30896960	55158857	79420753	94223568
ライセンス料金	14284666	24779784	35274902	40194582
放送時間販売	14744681	23781694	32818707	44012043
制作収入	1361010	3174920	4988830	5640354
教育TV制作費	0	2850000	5700000	2200000
その他	506603	572459	638314	2176589
支出	39122582	60227817	81333051	99021201
一般管理費	2958926	5132433	7305939	14938559
番組制作費	9452920	19226570	29000220	29006234
エンジニアリング費	5924448	10102148	14279848	16395325
エージェント支払	0	2532812	5065624	7342980
販売税	385222	2016838	3648453	3996759
コマーシャル	2502211	1526550	550888	1080983
訓練費	360131	624774	889416	5198839
減価償却費	17538724	19065694	20592663	21061522
経常利益	-8225622	-5068959	-1912298	-4797633
投資利益	0	2804230	5608459	7165370
純利益	-8225622	-2264730	3696161	2367737

スリ　ランカ ルババヒニ放送局貸借対照表 （単位：KRs.）

借方の部	1982	1983	1984	1985
流動負債	5,612	16,925	22,741	34,980
買掛金	1,080	1,895	5,209	7,877
エージェント未払	320	407	742	1,625
その他未払金	3,410	4,502	7,097	17,650
売上税未払	162	0	0	800
ライセンス料前払金	0	0	7,400	5,600
その他借金	640	592	1,366	1,428
当座借越	0	9,529	927	0
資本	290,195	304,754	327,639	524,991
政府よりの寄贈	15,107	21,800	27,851	521,720
海外援助	282,269	282,269	299,162	
創立準備金	6,053	6,053		
当年利益		7,809	3,686	2,368
繰越利益	-8,226	-8,226	-416	903
当期調整		45	358	
予備的支途	-5,008	-4,996	-3,002	
	295,807	321,679	350,380	559,971

貸方の部	1982	1983	1984	1985
流動資産	2,678	4,376	18,902	218,046
現金	1,708	3	5	1
コール預金		2,000	10,000	
当座預金				10,920
仕掛品	970	2,373	8,206	206,505
売掛金			691	620
固定資産	293,131	317,301	331,481	341,924
土地及び建物	129,848	128,913	136,027	136,120
設備	133,726	122,557	116,710	106,731
自動車	1,361	2,966	2,220	3,087
家具	977	1,505	1,719	1,844
オフィス設備	612	1,064	1,354	1,222
電気設備	1,908	1,837	1,709	1,390
TVセット	735	470	418	358
ライブラリー	22	54	119	182
楽器		51	39	28
その他備品	70	56	74	54
投資	8,000	29,000	26,000	34,000
株式	7,631	10,103	19,087	17,492
従業員への貸付金	545	724	873	1,029
預金	1,769	7,925	10,384	14,359
その他貸付金	5,927	10,076	14,748	24,123
貸倒引当金				-99
ランカプワトへの投資				4
	295,809	321,677	350,383	559,970

4－4　実施関係の建物・施設・機材

原則として、講義・実習に関してはＳＬＴＴＩの講義室ならびに実習室を使用するが、移動不可能な研修機材を使用する場合はＳＬＲＣ施設を使用する。ＳＬＲＣとＳＬＴＴＩは隣合っており、研修生の移動は容易である。

研修生の宿泊は、コロンボ市内のホテルを使い、ＳＬＲＣの用意するマイクロバスで送迎する。

研修機材としては、供与機材として最新ＥＮＧ機材２式、パーソナルコンピュータ３式を供与するこひととし、保守実習要ＥＮＧ機材はＳＬＲＣで運用のものを使用する。「ディジタル技術」、「マイクロプロセッサー技術」の実習で用いるＬＳＩ、トレーニングキット等は、研修機関に派遣予定の短期専門家の携行機材として導入する。

4－5　第三国集団研修の実行予算

調査団よりルパバヒニＴＶ局に対し、日本側の経費負担は、周辺国研修員の受入諸費（航空賃、滞在賃、保険料）及び研修諸費（外部講師謝金、交通費、現地雇人費、資材費、テキスト作成費）であることを説明するとともに、上記以外の必要経費は、ルパバヒニＴＶ局が負担すべきであるとの説明を行ったところ、先方はこれを了承し、必要経費は同ＴＶ局の予算から支出する旨説明があった。

5．日本の他の経済協力との関係

ＳＬＲＣに対する日本の技術協力実績

1．専門家派遣

1981年	短期専門家	7名
1981年〜現在	長期専門家	2分野各2名（ＴＶ放送技術、番組作製）
	（現在、佐々木長期専門家赴任中・番組作製）	

2．研修員受入れ

1981年	（放送網完成以前）	18名
	全員Sri Lanka Broadcasting Corporationから参加→ＳＬＲＣ	
1982年		5名
1983年		6名
1984年		2名
1985年		3名
1986年		2名
1987年		3名
		合計39名

（うちＳＬＲＣからは17名の参加）

3．無償資金協力

供与金額

（第一期）	20億円
（第二期）	17億円
工　期	1979年3月〜1981年11月、21ケ月間

4．主な供与機材　別添参照

主要な施設及び機材

	第１次無償資金協力 （本評価対象）	第２次無償資金協力	スリランカ側建設設備
コロンボ演奏所	mg１スタジオ２００㎡級		
	mg２スタジオ１００㎡級		
	ダビングスタジオ ３０㎡級		
	主調整室及設備　１式		
	副調整室及設備　２式		
	テレシネ設備　２式		
	ＶＴＲ設備　５式		
	番組中継設備　２式		
	ＯＢ　ＶＡＮ設備　１式		
	保守用機器　１式		
	電源設備　１式		
	空調設備　１式		
		mg３スタジオ４００級	
		副調整室及設備　１式	
		ＶＴＲ編集室　５式	
		ＶＴＲ設備　２式	
		ニュース取材設備２式	
		方式変換器　１式	
		電源設備　１式	
		空調設備　１式	
			管理棟
			番組中継設備　１式
			可搬型番組中継設備　１式
			ミニＯＢ　ＶＡＮ設備１式
			事務棟施設　１式
			文字発生器　１式
			テレシネ設備　１式
			編集機　１式

	第１次無償資金協力（本評価対象）	第２次無償資金協力	スリランカ側建設設備
Pidurutalagala 送信所	ＴＶ送信機２０kw　１式 空中線、鉄塔　１式 電源設備　１式 監視制御設備　１式 番組中継設備　１式		 変圧器　１式 職員、警備員宿舎　１式
Kokavil 送信所	ＴＶ送信機２０kw　１式 空中線、鉄塔　１式 電源設備　１式 監視制御装備　１式 番組中継設備　１式		 職員、警備員宿舎　１式
Kandy 中継送信所	ＴＶ中継放送機 ６０kw　２式 空中線、鉄塔　１式 電源設備　１式 監視制御設備　１式		 職員、警備員宿舎　１式
Madukauda 送信所	ＴＶ受信装置　１式 空中線、鉄塔　１式 電源設備　１式 番組中継設備　１式		
Suriya Kanda 中継送信所		ＴＶ中継放送機 ２００kw１式 空中線、鉄塔　１式 電源設備　１式	
Namunkra 中継送信所		ＴＶ中継放送機 １０kw１式 空中線、鉄塔　１式 電源設備　１式	

供与機材の有効性

(1) 放送設備・機器の活用

放送設備・機器共に十分に活用されている。このことは教育用テレビスタジオ増設計画基本設備調査団報告書にも明らかである。同調査団報告書によると、1984年2月12日から1週間のスタジオ活性状況は、総使用時間 80.75時間で、1日平均11時間強活用されている。

今回の調査結果を個別に例示すると次のようになる。

a) Asis Vision からの海外ニュース受信は1日2回20分まあり、これ以外にヨーロッパからのニュースをVIS　NEWSにより香港から受信している。当然スリランカからのニュース発信もあるから、STL装置を含む関連施設は十分活用されている。

b) 日本供与OB　VAN (Outside Broadcasting Van) は、総走行距離 9,056km、使用頻度は6年間で約 600回であった。このOB　VANが大型であり、Colombo 市内での利用での利用を意図して導入された点を考慮すると、使用頻度から云って十分に活用されたと云える。

c) SLRCの放送時間は、土曜を除き17：00～23：00、土曜10：00～23：00と拡大されており、この意味でも全放送設備・機器は有効に活用されている。上記放送に加えるに1985年には総計 290時間教育番組が放送された。

さらに、SLRC制作番組の放送時間は、1983年に47％であったが、1985年には52％に増加した。これに対し、外国制作番組は41～42％の間に留まっている。このことは、放送時間の増大が主としてSLRC制作番組によって行われたものであることを意味している。この点からも、供与施設が有効活用されていると云える。

(2) 放送設備・機器の適切さ

a) 設備・機器の規模及び数量

i) 演奏所

事前調査では、第1スタジオ副調整室には据付設備を配置せず、同スタジオの番組制作は、OB　VANの設備を用いて行うことになっていたが、実際には必要な装置は全て第1スタジオにも導入・設置された。この点は計画の変更があったと云えるが、テレビ番組制作に当っての便利さ、機動性の確保という意味では、この変更は極めて効果的であったと云える。これによってSLRCの番組制作能力が向上し、スタジオ、OB　VAN両者の運営管理が容易になった。

その他タビング室、主調整室設備、VTR及びテレシネ設備、ENG設備、電源設備、内線電話設備、測定装置等適切な規模で導入された。

ii) 送信所

本調査団はKandy 中継送信所を調査したが、中継送信機その他適切な方式のものが、適切な規模で設置されていた。Pidurutalagala送信所等についても物品数量調書を検討した

結果から、その数量等についてみる協力の規模は適切であると云える。

iii）予備部品等

予備部品等については、ＳＬＲＣ側は十分な数量を保有している。現在までも予備部品等の問題がない理由は、その配布が少なくとも大略５年以上は十分に対応できるよう配布されたからである。適切な規模かとも思われるが、予備品の供与については、部品の信頼性、相手側の調達能力を考慮し、故障時に予備品がない場合の日本側部品調達・供与体制を確立した上で、適切な数量を当初の段階で供与する方策をたてることが望しい。

iv）ＳＬＲＣ側意見

スリランカ側の当初要請が達成されており、本案件の規模については満足していた。

b)　設備及び機器の選定

i）スタジオ、主副調整室の雑音遮断特性等は良好かつ適切である。また、ＳＴＬ用マイクロ波送受信装置、放送送信装置、放送中継送信装置等６年間故障もなく、全体的にみて放送装置の稼動率は 100％である。ただし、商用電源断による送信出力断が１回発生した。また、ＶＴＲ装置の稼動率は９５％と少し劣っていた。

日本製装置の信頼性の高さは、ＳＬＲＣ側からも賞賛されていた。

ii）ＳＬＲＣ側職員に対する質問票調査の結果では、放送設備、機器については国際規格を満足する機器であって、信頼性が高く、かつ、最新モデルの機器が必要であるとの意見が圧倒的であった。日本側が選定した設備、機器は技術者層のこの要件を満足している。

iii）基本設計報告書の技術仕様を抽出法により検討した結果では、測定条件が明示されていない項目もあるが、概ね重要事項について妥当な特性値が与えられており、本案件に適切である。ただし、Colombo 演奏所の空調装置、電源装置の仕様は、英語版、日本語版共に見当らなかった。

この様な自体を回避するため、特に放送関係では同種協力プロジェクトが多いことを勘案して、例えば放送局設立の際の配備機器数量及び機種等を標準化すると同時に、機器仕様書を事前に整備しておく方策を採用することが望ましい。

c)　放送設備・システムの設計・施工

放送設備・関連システムの設計・施工は適切であった。

特筆すべき事項は、Colombo-Pidurutalagala間のＳＴＬ（Studio Transmitter Lnkage ）であり、送信側で送信機の並列運転を行い、その電力を合成して出力を２倍にすると同時に、受信側でも２台の受信機を用いて電力合成法によるダイバーシティ受信を行なって、フェージング及び機器故障による回線断の発生を防ぎ、経済的に信頼性の高いＳＴＬ回線を作成したことである。

同様に、Primrose Hill 中継送信所では、３０Ｗ＋３０Ｗの２台の送信機出力を合成して

６０Ｗの送信出力を得ると同時に、万一一方が故障しても送信出力の３ｄＢ定価のみで回線断に至らないような対策が講じてあった。この構成は仕様に記載のものとは異なるが、冗長度を増加して信頼性を向上させるための適切な対策であると判断される。

記述のように前者は現地の気象条件を考慮した適正な設計であるが、後者はメーカー側の工夫を採用して成功した事例であると思われる。仕様作成に当って経験豊富な製造業者の創意工夫が生かせる形とすることも重要である。

施工上の問題点としては工事残品処理の問題が挙げられる。Kandy 中継送信所では、工事残品の給電線ケーブルが敷地内に放置され、老朽化していた。これについては、ＳＬＲＣ側の要望により残置したものと思われるが、老朽化を防ぐ何等かの手段を取るのが望ましい。

d) 放送設備・機器の保守、維持管理

供与設備・機器は全て良好に機能しうる状態に保守され、維持管理されていた。

唯一の例外は、ＶＴＲ装置であった。この装置自体も９５％の稼動率を示し、それ自体特に問題がある訳ではないが、この稼動率を維持するため、主調整室内設置のＶＴＲ装置４台は全て装置の裏蓋を外して使用していたた。本装置は仕様頻度が高く、既に後期故障多発期に近づいているとの意見もあるが、それならば様子をみて取替等を検討すべきである。ＳＬＲＣ側はその検討を実施していなかった。

その他、ＳＬＲＣ側は電力装置の保守試験・点検とスタジオ設備のそれを同期させる等、保守試験・点検をシステム的に計画し、実施していた。

(3) 電力装置、空調装置等

供与装置は有効に活用されている。仕様書を検討した結果では、記述のColombo 演奏所分仕様の欠落を除き適性規模である。設計・施工上も特に問題はないが、今後の参考となるものとして、Pidurutalagala送信の例である。同送信所では、商用電源電圧が低下するとエンジン起動となり、２０秒間の送信停止のあと、エンジン側から電圧を受けて送信する構成となっている。そして、その後商用電源電圧が回復しても、自動的に商用側に切り換えることはない、その設計は、商用電源電圧の振動に伴ない、送信機のＯＮ－ＯＦＦが繰返し発生するものを防ぐためのものである。

しかし、実際にはスリランカの商用電源の実状から、エンジン運転の時間が長くなり、保守経費が嵩むとのことであった。これを回避しようとすると、保守者がその都度派遣されなければならず（商用側に切換えるため）、保守上不便であった。ＳＬＲＣ側はこの不便さを除くため大容量の変圧器を導入し、商用電源電圧の変動そのものの抑制を図っている。結果論ではあるが、このような設計の必要性が感じられる。

細部的な施工上の問題としては、andy中継送信所電源室の配線用トレンチのエンジン側配線仕上げ部において、トレンチ用鉄蓋が配線ケーブルの上に乗り、２～３cm程度浮き上ってい

た。施工及び検収の段階において改善されているべき事項である。

保守・維持管理はＳＬＲＣ側によって十分に行なわれている。例えば、空調装置のダクト系のオーバーボールも、ＳＬＲＣ側の手によって行なわれた。保守試験・点検の手順、周期についても配慮が十分なことは、記述のとおりである。

(4) 建　築

施設は十分に活用されている。将来増設、増築計画も事前調査の段階から配慮されており、第２次協力の際も容易に増築できた。これを含め、今後のスリランカ国政府独自、又は、他国との協力による増設、増築にも対応できるような、全体計画がＳＬＲＣと共同で作成されている。

今回評価調査の対象ではないが、第２次協力の工事が完成していたので、Colombo 演奏所空調、電力装置関係分について視察した。その結果、空調装置が狭隘な部屋に設置され、保守点検作業が困難になっている箇所があった。これは施設部門と建築部門の連携が十分ではないと思わせるものであった。

以上を総合すると、所要局舎面積、又は機械室、調整室等の面積を標準化するのが望ましいと思われた。

6．当該分野に対する他の先進国の協力概要

当該第三国研修に相当する他の国からの案件はない。ＳＬＲＣの下部組織としてＳＬＴＴＩ（研修所）があり、そこにはＮＧＯとしてドイツのＦＦＳ（エーベルト財団）から、２名の専門家が派遣されているが、ＳＬＲＣの職員の基礎研修を行っており、外国からの研修員を受け入れる計画は現段階ではない。

研修の内容としては、「手造りのマスメディア」を目指しており、いわばグラスルートレベルの技術を主体としているため、ルパバヒニＴＶ放送局の新採用スタッフの導入訓練として活用としているにとどまり、現役スタッフの技術向上研修の実施の可能性は皆無である。

国際機関との連携

本案件に関しては特に国際機関との連携作業はなかった。しかし、日本の援助により完成されたＴＶ放送網を通して、国際機関が番組制作について協力し、スリランカ国民から好評をもって受け容れられている例がある。詳しくは後述するが、World View International Foundationが、農村部への健康衛生普及を目的として、スリランカ国Plan Implementation Ministryと協力してＴＶドラマ制作の協力をしている例である。

a）西独フリードリッヒ・エベルト財団は、スリランカ文化交流基金、ＳＬＲＣと協力して、放送局関係技術者、製作者の訓練を目的とするスリランカ・テレビジョン訓練機関（ＳＬＴＴＩ）を1984年１０月設立した。上記３者の役割分担は次の通りである。

ｉ）スリランカ文化交流基金：敷地建物、管理部門職員の提供。

ii）ＳＬＲＣ・訓練部門職員の提供、運営費等現地負担分の拠出。

iii）フリードリッヒ・エベルト財団：訓練機械の提供、訓練手法等の技術移転

本校の規模は訓練可能人員３０な程度と小さいが、１～２週間から１ケ月間程度のコースを1984年で１１コース、1985年で２３コース終了している。また、本校に供与された訓練機械の主要のものは、ＳＬＲＣの要請もあって日本製（ＳＬＲＣ保有のものと同一仕様のもの）であるが、十分ではなく、ＳＬＲＣ側の説明によると、基礎的導入訓練を行っているとのことであった。しかし、放送局が必要とする人材の養成の意味からも、本校に関する協力の本案件に対する連携効果は大きい。

b）ＩＴＮが仏国の協力により送信出力を増加し、サービスエリアを拡大する計画である。ＩＴＮとＳＬＲＣは両者共国営でありながら、部分的には競合関係にあり、その協力の効果は、ＳＬＲＣ側の番組改善等の努力に対しても大きく影響すると思われる。

※① フリードリッヒ・エベルト財団

現在専門家２名派遣中

② ＳＬＴＴＩのスタッフは約１０名

7. 第三国集団研修実施の妥当性

「ス」国外務省、大蔵企画省、情報省より本研修実施につき協力をおしまない旨の表明があり、「ス」国は本研修実施も強く望んでいることを確認した。

実施機関となるルパバヒニＴＶ局は、本研修実施に対する意欲のみならず技術要員、施設、事務管理組織等も相当に充実しており、本局の円滑な運営状況から客観的にも実施能力を十分に有することが認められた。

他方、本研修に対する周辺国のニーズについては、調査団訪「ス」時に、「ス」国主催によるＳＡＡＲＣ地域のＴＶ放送関係者会議が開催されており、同会議においてもＴＶ放送技術の人材養成が重要課題として取り上げられており、関係国の関心の程度も高いことから本研修に対する周辺国のニーズは高いものと認められた。

以上のことから、本研修は「ス」政府の協力、実施機関の研修運営能力、周辺国のニーズという第三国研修実施の必要条件を満しており、実施は妥当であると判断される。

西南アジア地域における放送分野日本技術協力の実績

1．プロジェクト方式技術協力

案件なし

2．開発調査

1978年	スリランカ	全国テレビ放送網建設計画Ｆ／Ｓ調査
1986年	ネパール	ネパールＴＶ放送網開発計画調査

3．一般無償

			(百万円)
1976年	アフガニスタン	カブールＴＶ放送局	950
1978年	バングラデシュ	学校教育放送施設整備用機材	700
1981年	〃	ラジオ放送会館建設計画	1440
1984年	〃	ラジオ放送会館建設計画	740
1982	〃	チタゴンラジオ放送諸整備計画	373
1979年	スリランカ	ＴＶ放送局設立計画	2000
1980年	〃	ＴＶ放送局設立計画	1700
1984年	〃	教育テレビ放送拡充計画	1430
1981年	ネパール	中波ラジオ放送網整備拡充計画	1950
1982年	ビルマ	ＴＶ放送施設拡充計画①	1730
1983年	〃	ＴＶ放送施設拡充計画②	1280

4．文化無償

1979年	モルディブ	教育放送受信機材	15
1981年	〃	教育放送機材	15

放送分野における西アジア地域への日本の協力

(1) ネパール	(A) ラジオ放送網建設計画	（52－53年）
	(B) テレビ放送網建設計画	（62年－進行中）
(2) モルブジ	(A) スタジオ設備一式	（文化無償、62年）
(3) バングラディッシュ	(A) テレビ建設計画	（52年）
	(B) ラジオ放送会館建設計画	（53－55年－進行中）
(4) スリランカ	(A) テレビ放送網建設計画	（53年）
	(B) 短波放送施設設備建設計画	（62年－進行中）

パキスタン、インドおよびブータンについてはこれまでプロジェクト、機材供与ともなし

周辺国のテレビ放送状況

ビルマ

テレビビルマ一局のみの放送である。カラー放送である。日本の技術協力による放送システムである。ラングーンでは室内アンテナで明瞭に受像できる。

バングラデシュ

テレビ放送局は1局しかない。放送は平日で夕方5時から夜の11時30分まで、祭日は3時から主にスポーツ番組である。カラー放送。

ブータン

テレビ放映はされていない。（他のアジアの国ではすべて放映されている）

ネパール

現在、試験放送局である。全国テレビ放送網の建設を計画中。

パキスタン

首都カラムの他ラホール、ラワルピンジ、イスラマバード、ケッタにラレビセンターであり16の地方中継局とともに全人口の80％以上をカバーしている。政府はさらにテレビ放送網の拡充を計画、推進中。

モルディブ

国営放送のテレビ電波は首都と50キロ以内の島々をカバーしている。

番組の30％が教育、20％がニース、残り50％が娯楽。

インド

インドのテレビ事業は、従来、非常に発展がおくれていた。インド政府は農村の貧困解決を最優先課題とし、テレビ事業を長い間抑制してきた。

インドのテレビは、1985年９月、ユネスコが開発途上国におけるテレビの教育的役割を調査するためデリーにパイロットセンターを開設し、週２日、１日２０分の教育番組の実験放送を始めたのが最初である。一般向けの本放送は1965年、デリー局が１日１時間の放送で開始した。しかし、インドで２番目のテレビ局、ボンベイ局は７年後の1972年になってようやく開局した、その後1973年スリナガル局とアムリッツァー局、1975年マドラス局、カルカッタ局、ルックナウ局と主要な局が開局した。こうして1982年には４１のテレビ局（中継局を含む）が稼動するに至ったが、それでもテレビ電波は人口の１９％、面積にして全国の 6.5％をカバーするにすぎなかった。

1982年４月１０日、多目的衛星インサット１Aがアメリカのケープカナベラル宇宙センターから打ち上げられたが、同年９月６日機能を停止した。次いで翌1983年８月３１日、インサット１Bがスペース・シャトルから発射され、１０月中旬からテレビの直接放送と番組の分配を開始した。

国内衛星の実用化と1984年に実施されたテレビ放送拡充のための特別計画により、インドの放送事業はきわめて急速な発展を遂げ、1984年末現在、 180局が稼動し、テレビ電波は人口の７０％をカバーするに至っている。

番組面ではラジオの場合と同様、各局によって編成内容、放送時間が異なっている。一般番組は夕方から始まるが、デリー、ボンベイ、マドラスなどの局は午前、午後の時間に学校放送（主として中学・高校向け）を実施している。デリーでの学校放送実施時間は午前８時３５分、９時１５分、１０時５０分、午後２時３５分、４時、４時４５分の１日６回である。

1984年９月１７日、インド国営テレビは開局２５周年を迎えたのを期にデリー局、次いでボンベイ、マドラス、カルカッタの各局の第２テレビの放送を開始した。

（出典：任国事情日総研）

ＴＶ関連コース参加研修員数（西南アジア地域）

(1983～1987)

<table>
<tr><td></td><td colspan="4">83</td><td colspan="4">84</td><td colspan="4">85</td><td colspan="4">86</td><td colspan="4">87</td><td colspan="7">合　計</td></tr>
<tr><td></td><td>①</td><td>②</td><td>③</td><td>④</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>ビルマ</td><td></td><td></td><td>1</td><td></td><td>1</td><td>1</td><td></td><td></td><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td>1</td><td></td><td></td><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td>4</td><td>2</td><td>1</td><td>0</td><td>6</td><td>1</td><td>7</td></tr>
<tr><td>バングラデシュ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td></td><td></td><td>1</td><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>3</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>3</td><td>1</td><td>4</td></tr>
<tr><td>ブータン</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr>
<tr><td>ネパール</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td></td><td>1</td><td></td><td>2</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td><td>2</td><td>1</td><td>3</td></tr>
<tr><td>インド</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td></td><td></td><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td><td>2</td><td>0</td><td>2</td></tr>
<tr><td>パキスタン</td><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td></td><td></td><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td>3</td><td>0</td><td>0</td><td>2</td><td>3</td><td>2</td><td>5</td></tr>
<tr><td>モルディブ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td></td><td>1</td><td>0</td><td>2</td><td>0</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr>
<tr><td>スリ・ランカ</td><td>2</td><td>1</td><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td>2</td><td></td><td>1</td><td></td><td>5</td><td>1</td><td>3</td><td>0</td><td>6</td><td>3</td><td>9</td></tr>
<tr><td rowspan="3">合　計</td><td>3</td><td>1</td><td>2</td><td>0</td><td>4</td><td>2</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td><td>4</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td><td>5</td><td>0</td><td>3</td><td>0</td><td>19</td><td>4</td><td>7</td><td>3</td><td colspan="2"></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">4</td><td colspan="2">2</td><td colspan="2">6</td><td colspan="2">3</td><td colspan="2">3</td><td colspan="2">2</td><td colspan="2">5</td><td colspan="2">0</td><td colspan="2">5</td><td colspan="2">3</td><td colspan="4"></td><td>23</td><td>10</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="4">6</td><td colspan="4">9</td><td colspan="4">5</td><td colspan="4">5</td><td colspan="4">8</td><td colspan="4"></td><td colspan="2"></td><td>33</td></tr>
</table>

① テレビ放送技術（基礎）　③ 教育テレビジョン番組（基礎）

② 〃（上級）　④ 〃（上級）

8. 日本側の協力

8－1　協力の目的と必要性

ＴＶ放送は正確な情報の伝達手段として重要視されるうえに、社会教育の効果的かつ効果的な普及手段としても最適である。したがって各国におけるＴＶ放送技術の拡充は時代の要求であり、南西アジア地域においては各国の政情安定にも寄与する点で必要不可欠である。そのため人材養成は急務でありかつ重要な課題となっている。

本研修は、南西アジア諸国のＴＶ放送技術者に対し、番組製作をも含むＴＶ放送の知識及び新らしい実用技術を付与し、ひいてはＴＶ放送技術者の人材養成の要求に対応して実施されるものであり我が国の本研修に対する協力の意義は極めて大きい。

8－2　経　費　分　担

日本側の経費分担は、ルパバヒニＴＶ局との協議により以下のとおりとした。

〈単位スリランカルピー〉

ただし、本計画実行の時点で為替変動に見あう、調整を配慮することが望ましい。

ANNEXURE III

TENTATIVE ESTIMATE OF EXPENSES TO BE BORNE BY JICA

Item of Expenses	Breakdown	Amount
		Rs.
I. Invitation Expenses		
1. Air Tickets	@ Rs.25,000/- x 12pesons	300,000/00
2. Per Diem	@ Rs. 750/- x 12 persons x 44 days	396,000/00
3. Accomodation	@ Rs. 1,200/- x 12 persons x 44 days	633,600/00
4. Medical Insurance	@ Rs. 7,000/- x 12 pesons	84,000/00
5. Transportation	@ Rs. 30/- x 12 pesons	3,600/00
		45917US$
Sub Total		1,417,200/00
		5,969,210 円
II. Training Expenses		
1. Employment Fee-		
Secretary		10,000/00
Honoraria for Ext.lecture		15,000/00
2. Material Procurement		
Articles of consumption	@ Rs. 2,000/- x 15 persons	30,000/00
Teaching aids	@ Rs. 2,000/- x 15 persons	30,000/00
3. Transportations	@ Rs. 1,000/- x 44 days	44,000/00
4. Text Books	@ Rs. 2,000/- x 15 persons	30,000/00
5. Meeting Expenses-		
Opening ceremony		
Closing ceremony	@ Rs. 750/- x 65 persons	48,750/00
6. Others (G.I.,Certificates, printing,etc.)	@ Rs. 500/- x 15 persons	7,500/00
		6974US$
Sub Total		215,250/00
		906,620 円
Grand Total		1,632,450/00
		5289/US$
		6,900,000 円

Remark : Rs. 1/- - 0.0324 US$

なお、先方FINANCE MANAGER よりスリランカルピーの対米ドル為替レートの変動が激しいため経費の申請はスリランカルピーで行いたい旨要請があった。

これについては、研修を円滑にかつ効果的に実施するためには適切な予算を確保する必要があるので調査団は先方要請を了承した。

8－3　専門家派遣

ルパバヒニＴＶ局より２名の短期専門家派遣要請がなされた。

本研修は、ベータカムの操作、動作原理等新技術についての研修内容も含まれていること。又、第１回目の研修を成功されるためにも専門家の派遣は必要であると思料される。

8－4　カウンターパート受入れ

ルパバヒニＴＶ局より、研修は可能な限り同ＴＶ局の職員が講師となり実施したので、本研修開始前にエンジニア１名及びテクニシャン１名を日本に送りベータカムを中心に集中的に技術研修を行いたい旨要請がなされた。

これに対し、調査団より要請の主旨は理解できるが、予算の都合もあり２名受入れの約束はできない旨回答した。

先方の要請は、研修を主体的に実施するとの第三国研修の主旨に沿ったものであるので、予算的に可能であれば２名の研修員受入れが望ましい。

8－5　機材供与

ルパバヒニＴＶ局より、同ＴＶ局の現有する機材は、ＴＶ放送のためにフル稼動しており研修のために活用することが困難であるので、研修をより効果的に実施するための機材供与要請がなされた。

これに対し、調査団は持ち帰り検討する旨回答する。

ＴＶ放送分野での研修は、講義のみならず実習を行うことがより効果的な研修となり、今後の研修及び技術移動を効果的かつ効率的に実施するために有用であるので、機材供与はは必要であると思料される。

Tentative List of Equipment for SLRC

NO	Item	Quantity	Price(Yen)	Remarks
1	Camera with VTR (BVW-505P)			
2	Tripod			
3	Zoom Lens (J13×9B)			
4	Rechargeable Battery (NP-1A)			
5	Battery Charger (BC-1WA)			
6	AC Adapter (AC-500)			
7	Camera Adapter (CA-3A)			
8	VTR Adapter (VA-5P)			
9	Camera Cable (CCZ-2)			
10	Portable Light Kit (KLM-2)			
11	Spare Lamp			
12	Dynamic Microphone (F-760)			
13	Betacam VTR (BVW-35P)			
14	9 inch Color-Monitor (PVM-9020ME)			
15	Car Battery Cord (DCC-16AE)			
16	Betacam Player (BVW-60P)			
17	Betacam VTR (BVW-70P)			
18	Editing Control Unit (BVE-800)			
19	9P VTR I/F (BK-807)			
20	13 inch Color Monitor (PVM-1371QM)			
21	Editing Consoie			

9．実施にあたっての留意事項

・テキストならびに教材の整備

当該研修の講師予定者のうち、１名ないし２名をＣ／Ｐとして受入れる予定であるが、その際、１週間程度をテキストならびに教材の整備についての打合せに当て、ＪＩＣＡと充分に協議しておく必要がある。

(付　属　資　料)

・ミニッツ

・予定単独供与機材リスト

・関連本邦研修の研修員受入実績

・関連本邦研修への参加研修員リスト

Dr. ANURA GUNASEKARA
Secretary,
MINISTRY OF INFORMATION

MINUTES OF MEETINGS BETWEEN
THE JAPANSES PRELIMINARY SURVEY TEAM AND
THE AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT OF
THE DEMOCRATIC SOCIALIST REPUBLIC OF SRI LANKA
ON THE THIRD COUNTRY TRAINING PROGRAMME

1. In response to the request made by the Government of the Democratic Socialist Republic of Sri Lanka for cooperation in implementation of international training course in the field of color television engineering, the preliminary survey team organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and headed by Mr. Kinjiro Wada visited the Democratic Socialist Republic of Sri Lanka from 24 February to 4 March 1988 in order to conduct preliminary surveys for implementation of the course.

2. The team has conducted surveys, held a series of meetings and exchanged opinions with the authorities concerned of the Government of the Democratic Socialist Republic of Sri Lanka regarding the course.

3. Through the meetings, both sides shared the view that the course will contribute to the development of the color television engineering in Southwest Asian countries,.

4. Both sides worked out the draft of the Record of Discussions attached as APPENDIX II, and agreed that further studies be made for future appropriate arrangement to complete the Record of Discussions in order to ensure the successful implementation of the course.

5. A list of attendants at the meetings is attached as APPENDIX I.

Colombo, 2 March, 1988

Kinjiro Wada
Head of the Japanese
Prelimanary Survey Team
Japan International
Cooperation Agency

N. Asela Navaratne
Chairman
Sri Lanka Rupavahini
Corporation
Ministry of State

Dr. ANURA GUNASEKARA
Secretary,
MINISTRY OF INFORMATION

APPENDIX I

LIST OF ATTENDANTS

<u>SRI LANKA SIDE</u>

1.	MR RAJA LINGHAM	DIRECTOR, ECONOMIC AFFAIRS BUREAU, MINISTRY OF FOREIGN AFFAIRS
2.	MR H K BANDERA	DEPUTY DIRECTOR, ECONOMIC AFFAIRS, MINISTRY OF FOREIGN AFFAIRS
3.	MR M A MOHAMED	DIRECTOR, DEPARTMENT OF EXTERNAL RESOURCES, MINISTRY OF FINANCE AND PLANNING
4.	DR A GUNESEKARA	SECRETARY, MINISTRY OF INFORMATION
5.	MR A NAVARANTE	CHAIRMAN SLRC
6.	MR SHANTHI KUMAR DE FONSEKA	DIRECTOR ENGINEERING (MAINTENANCE)
7.	MR SATHKUNARJAH	FINANCE MANAGER SLRC
8.	MR UPALI S ARAMBEWALE	ENGINEERING MAINTENANCE AND SATELLITE, SLRC

<u>JAPANESE SIDE</u>
<u>Survey Team</u>

1.	MR KINJIRO WADA	HEAD, TRAINING AFFAIRS DIVISION OSAKA INTERNATIONAL TRAINING CENTRE, JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY

APPENDIX II

(DRAFT)

RECORD OF DISCUSSIONS BETWEEN

THE RESIDENT REPRESENTATIVE OF

JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY

IN SRI LANKA AND THE CHAIRMAN OF RUPAVAHINI CORPORATION

ON THE THIRD COUNTRY TRAINING PROGRAMME

The Japanese Preliminary Survey Team on the Third Country Training programme had discussions with authorities concerned of the Government of the Democratic Socialist Republic of Sri Lanka in February - March 1988 with respect to the framework of the training course in the field of color television engineering under the Programme, and to desirable measures to be taken by the authorities concerned of both Governments to ensure their successful operation.

Based on the above discussions, the Resident Representative of Japan International Cooperation Agency in Sri Lanka and the Chairman of Sri Lanka Rupavahini Corporation agreed to recommend to their respective Governments the matters referred to in the documents attached hereto.

Colombo ,1988

Resident Representative Japan International Cooperation Agency in Sri Lanka	Chairman Sri Lanka Rupahavani Corporation Ministry of Information

ATTACHED DOCUMENT

The Government of Japan and the Government of the Democratic Socialist Republic of Sri Lanka will cooperate with each other in organizing training courses in the field of color television engineering (hereinafter referred to as "the Course") at Sri Lanka Rupavahini Corporation under the Third Country Training Programme of the Japan International Cooperation Agency.

Sri Lanka Rupavahini Corporation (hereinafter referred to as "SLRC") will conduct the Course with the support of technical cooperation scheme of the Government of Japan. The Course will be held once a year from the fiscal year of Japan 1988 to 1992, subject to annual consultation between the authorities concerned on both sides.

The Course will be operated in accordance with the following items:

1. TITLE

The Course will be entitled:
"International Training Course on Colour Television Engineering"

2. PURPOSE

The purpose of the Course is to provide participants from Southwest Asian Countries with an opportunity to update and upgrade relevant techniques and knowledge in the field of Color Television Engineering.

3. OBJECTIVES

By the end of the Course, the participants are expected to be able to :

(1) Understand fundamental theory of color television,

(2) Understand fundamentals of principles, operation and maintenance of the following equipments: colour cameras (including Eng. cameras), studio equipment, VTR, and etc.

(3) Understand fundamentals of programme production, and

(4) Acquire fundamental knowledge of application of digital techniques and personal computers to broadcasting.

4. DURATION

The first course will be held from 15th October to 27th November, 1988.

5. CURRICULUM

The tentative curriculum of the Course is attached as ANNEX I.

6. INVITED COUNTRIES

The following countries will be invited to apply for the Course by nominating their applicant(s) :
Bangladesh, Bhutan, Burma, India, Maldives, Nepal and Pakistan.

7. NUMBER OF PARTICIPANTS

The number of participants from the invited countries shall not exceed twelve (12) in total. And the participants from the Democratic Socialist Republic of Sri Lanka shall not exceed three (3) in total.

8. QUALIFICATIONS FOR APPLICANTS

Applicants for the Course are;

(1) To be nominated by their respective Governments in accordance with procedure mentioned in 10-1 below.

(2) To be university graduates in electronic engineering, or to have the equivalent academic background.

(3) To be engineers serving in a broadcasting organization and presently engaged in operation and maintenance of TV equipment.

(4) To have the practical experience of more than three (3) years in the related field.

(5) To be under forty (40) years of age in principle.

(6) To have a sufficient command of spoken and written English, and

(7) To be in good health, both physically and mentally to complete the Course.

9. <u>FACILITIES AND INSTITUTIONS</u>

Sri Lanka Rupavahini Corporation (SLRC)

10. <u>PROCEDURE OF APPLICATION</u>

10-1. The applicants for the Course shall forward five (5) copies of the prescribed application form for each nominee to SLRC through <u>Sri Lanka</u> diplomatic channels not later than two (2) months before the commencement of the Course.

10-2. SLRC will inform the applicants through <u>Sri Lankan</u> diplomatic channels whether or not the applicants) is/are accepted to the Course not later than one (1) month before the commencement of the Course.

11. <u>UNDERTAKING OF BOTH SIDES</u>

In organizing and implementing the Course, in compliance with the Tentative Schedule of the Course Operation attached in Annex II, both sides will take the following measures in accordance with the relevant laws and regulations in force in each country.

11-1 SLRC

(1) To formulate the curriculum based on Annex I.

(2) To draft and print the General Information brochures (G.I.)

(3) To forward the G.I. to the Government of the invited countries through Sri Lanka diplomatic channels.

(4) To receive application forms through Sri Lanka diplomatic channels.

(5) To assign an adequate number of its staff as lecturers/instructors for the Course.

(6) To provide its training facilities and equipments for the Course.

(7) To select participants in the Course.

(8) To notify the result of the selection to the JICA Sri Lanka Office (hereinafter referred to as "the JICA Office") through Sri Lankan diplomatic channels.

(9) To arrange accommodation for participants.

(10) To arrange international air tickets for participants from the invited countries and to meet and see them off at the airport.

(11) To take budgetary measures to bear the expenses necessary for conducting the Course excluding the expenses financed by JICA.

(12) To issue certificates to the successful participants at the end of the Course.

(13) To submit a course report and a statement of expenditures to the JICA Office after the Course, and

(14) To coordinate any matter related to the Course.

11-2 JICA

(1) To dispatch short-term expert(s), following the regular procedures of its technical cooperation scheme, who will give advice to SLRC and deliver lectures for the Course.

(2) To bear the following expenses through JICA as the Tentative Estimate of Expenses attached in ANNEX III.

(a) Such expenses relevant to participants from the invited countries as international economy-class flight fare, accommodation, per-diem and medical insurance premiums.

(b) Such expenses relevant to SLRC as honoraria for external lecturers, arrangement of meetings and study tour(s), teaching aids, expendable supplies, copies and reprints and secretarial services.

12. <u>PROCEDURE OF REMITTANCE AND EXPENDITURE</u>

The remittance and expenditure of the funds for the expenses to be borne by JICA will be arranged in accordance with the following procedure.

12-1 SLRC will open a bank account in the Democratic Socialist Republic of Sri Lanka to receive the fund remitted by JICA and inform the JICA Office of the name of the bank, the account code number, and the name of the account holder.

12-2 SLRC will submit to the JICA Office a bill of estimate for expenses to be borne by JICA not later than sixty (60) days before the commencement of the Course.

12-3 JICA will assess the bill of estimate and remit the assessed amount of expenses to the account mentioned in 12-1 above within thirty (30) days after the receipt of the bill of estimate.

12-4 SLRC will submit to the JICA office a statement of expenditures within thirty (30) days after termination of the Course.

12-5 In case any amount of the fund remitted by JICA remain unspent, SLRC will reimburse the unspent amount to JICA in accordance with the instructions given by JICA. The fund allocated for the flightfare, accommodation, per-diem and medical insurance premiums shall not be appropriated for any other purpose.

12-6 By the request of JICA, SLRC will make available for JICA's reference all the receipts and other documentary evidence necessary to certify the expenditures stated in 12-4 above.

13. This Attached Document and the following Annexes attached hereto shall be deemed to be part of the Record of Discussions :

ANNEX I	:	Tentative Curriculum of the Course
ANNEX II	:	Schedule of Course Operation
ANNEX III	:	Tentative Estimate of Expenses

ANNEX I

CURRICULUM

THE THIRD COUNTRY TRAINING COURSE IN THE FIELD OF "TELEVISION BROADCASTING ENGINEERING" IN SRI LANKA

		MORNING (9:00-12:00)	AFTERNOON (13:00-16:00)
	MON	OPENING CEREMONY	COURSE GUIDE
	TUE	LECTURE ON COLOUR TV STANDARDS (PAL)	OBSERVATION TOUR TO SLRC
1st Week	WED	LECTURE ON COLOUR TV STANDARDS (PAL)	OBSERVATION TOUR TO SLTTI
	THUR	LECTURE ON COLOUR TV STANDARDS (PAL/SECAM/NTSC)	LECTURE ON MAINTENANCE (CAMERA; JVC 2700)
	FRI	LECTURE ON MAINTENANCE (VTR; U-MATIC H8)	EXPLANATION AND PREPARATION FOR PROGRAMME PRODUCTION BY BETACAM (1)
	SAT	INTRODUCTION TO NEW TV BROADCAST ENGINEERING (1) (HIGH DEFINITION TV)	FREE
	SUN	FREE	FREE

		MORNING (9:00-12:00)	AFTERNOON (13:00-16:00)
	MON	LECTURE ON BETACAM (BLOCK DIAGRAM OF CAMERA PART)	EXPLANATION AND PREPARATION FOR PROGRAMME PRODUCTION BY BETACAM (2)
	TUE	LECTURE ON BETACAM (IMAGE FORMATION BY CCD)	PRACTICE (a) MAINTENANCE (CAMERA) (b) PROGRAMME PRODUCTION
2nd Week	WED	LECTURE ON BETACAM (SIGNAL PROCESSING)	PRACTICE (a) MAINTENANCE (CAMERA) (b) PROGRAMME PRODUCTION
	THUR	LECTURE ON BETACAM (SIGNAL ENCODING)	PRACTICE (a) MAINTENANCE (CAMERA) (b) PROGRAMME PRODUCTION
	FRI	LECTURE ON ELECTRONIC EDITOR (HARDWARE)	PRACTICE (a) MAINTENANCE (CAMERA) (b) PROGRAMME PRODUCTION
	SAT	INTRODUCTION TO NEW TV BROADCAST ENGINEERING (2) (DIRECT BROADCASTING SATELLITE)	FREE
	SUN	FREE	FREE

Programme Production by BETACAM (BVW-505P)
Maintenance: Electric Alignment
Mechanical Alignment

		MORNING (9:00-12:00)	AFTERNOON (13:00-16:00)
	MON	LECTURE ON BETACAM (BLOCK DIAGRAM OF RECORDER PART)	PRACTICE (a) MAINTENANCE (VTR) (b) PROGRAMME PRODUCTION
	TUE	LECTURE ON BETACAM (RECORDING PRINCIPLE)	PRACTICE (a) MAINTENANCE (VTR) (b) PROGRAMME PRODUCTION
3rd Week	WED	LECTURE ON BETACAM (SIGNAL REPRODUCING)	PRACTICE (a) MAINTENANCE (VTR) (b) PROGRAMME PRODUCTION
	THUR	LECTURE ON EDITING PRINCIPLE	PRACTICE (a) MAINTENANCE (VTR) (b) PROGRAMME PRODUCTION
	FRI	STUDIO WORK TRAINING (PROGRAMME PRODUCTION)	
	SAT	STUDIO WORK TRAINING (PROGRAMME PRODUCTION)	
	SUN	FREE	FREE

		MORNING (9:00-12:00)	AFTERNOON (13:00-16:00)
4th Week	MON	LECTURE ON DIGITAL TECHNIQUES (FUNDAMENTALS OF DIGITAL TECHNOLOGY)	PRACTICE (BINARY COUNTERS)
	TUE	LECTURE ON DIGITAL TECHNIQUES (LOGIC FAMILIES)	PRACTICE (COMPLEX DIGITAL CIRCUITS)
	WED	LECTURE ON DIGITAL TECHNIQUES (A/D, D/A CONVERSION)	PRACTICE (A/D, D/A CONVERSION)
	THUR	LECTURE ON DIGITAL TECHNIQUES (DIGITAL SIGNAL PROCESSING)	PRACTICE (TIME BASE CORRECTOR, BVT-800)
	FRI	VISIT TO TRANSMITTING STATION	
	SAT	VISIT TO TRANSMISSION STATION	
	SUN	FREE	FREE

		MORNING (9:00-12:00)	AFTERNOON (13:00-16:00)
	MON	LECTURE ON MICROPROCESSOR (INTRODUCTION TO MICROCOMPUTER)	PRACTICE BY MICROPROCESSOR TRAINING KIT
	TUE	LECTURE ON MCIROPROCESSOR (PROGRAMMING TECHNOLOGY)	PRACTICE BY MICROPROCESSOR TRAINING KIT
5th Week	WED	LECTURE ON MICROPROCESSOR (I/O TECHNIQUES)	PRACTICE BY MICROPROCESSOR TRAINING KIT
	THUR	LECTURE ON MICROPROCESSOR (INTERRUPTS AND DIRECT MEMORY ACCESS)	PRACTICE BY MICROPROCESSOR TRAINING KIT
	FRI	LECTURE ON MICROPROCESSOR (PERIPHERAL DEVICES)	PRACTICE BY MICROPROCESSOR TRAINING KIT
	SAT	LECTURE ON DIGITAL TV STANDARDS	FREE
	SUN	FREE	FREE

		MORNING (9:00-12:00)	AFTERNOON (13:00-16:00)
	MON	LECTURE ON PERSONAL COMPUTER (FUNCTIONS)	PRACTICE BY PERSONAL COMPUTER (APC IV) (FUNCTIONS)
	TUE	LECTURE ON PERSONAL COMPUTER (LANGUAGE)	PRACTICE BY PERSONAL COMPUTER (APC IV) (LANGUAGE)
6th Week	WED	LECTURE ON PERSONAL COMPUTER (USERS' SOFTWARE PACKAGES)	PRACTICE BY PERSONAL COMPUTER (APC IV) (USERS' SOFTWARE PACKAGES)
	THUR	WRITING REPORT	
	FRI	Q AND A	CLOSING CEREMONY
	SAT		
	SUN		

CURRICULUM OF THE COURSE

The Course to be conducted over a period of six weeks.
The following major subjects will be covered in the Course.

1. Lectures .... 87 hours

(a)	Colour TV Standards	(9 hours)
(b)	Maintenance	(6 hours)
(c)	BETACAM	(27 hours)
(d)	Introduction to New TV Broadcast Engineering	(6 hours)
(e)	Digital Techniques	(12 hours)
(f)	Microprocessor	(15 hours)
(g)	Digital TV Standards	(3 hours)
(h)	Personal Computer	(9 hours)

2. Practice .... 78 hours

(a)	Explanation and Preparation for Programme Production by BETACAM	(6 hours)
(b)	Maintenance	(12 hours)
(c)	Programme Production	(12 hours)
(d)	Studio Work Training	(12 hours)
(e)	Digital Techniques	(12 hours)
(f)	Microprocessor	(15 hours)
(g)	Personal Computer	(9 hours)

3. Observations .... (18 hours)

(a)	SLRC	(3 hours)
(b)	SLTTI	(3 hours)
(c)	Transmitting Station	(12 hours)

SCHEDULE OF THE COURSE OPERATION

MONTH	SRI LANKA SIDE	JAPANESE SIDE
Early March 1988	1. Signing of Record of Discussions 2. Submission of Forms A-1 3. Preparation of G.I.	1. Signing of Record of Discussions
Early April 1988	1. Distribution of G.I. and Application Form	
Early July 1988		1. Recruitment of Experts
Middle August 1988	1. Opening of Bank Account 2. Submission of Bill of Estimate 3. Receipt of Application Forms	1. Submission of Forms B-1
Late August 1988	1. Notification of the Selection of the Participants	1. Remittance of Expenses
October - November 1988	1. Implementation of Course	1. Dispatch of Experts
Early December 1988	1. Submission of Statement of Expenditures. 2. Submission of Course Report	

ANNEXURE III

TENTATIVE ESTIMATE OF EXPENSES TO BE BORNE BY JICA

Item of Expenses	Breakdown	Amount
I. Invitation Expenses		Rs.
1. Air Tickets	@ Rs.25,000/- x 12 persons	300,000/00
2. Per Diem	@ Rs. 750/- x 12 persons x 44 days	396,000/00
3. Accomodation	@ Rs. 1,200/- x 12 persons x 44 days	633,600/00
4. Medical Insurance	@ Rs. 7,000/- x 12 persons	84,000/00
5. Transportation	@ Rs. 300/- x 12 persons	3,600/00
Sub Total		1,417,200/00
II. Training Expenses		
1. Employment Fee -		
Secretary		10,000/00
Honoraria for Ext. lecture		15,000/00
2. Material Procurement		
Articles of consumption	@ Rs.2,000/- x 15 persons	30,000/00
Teaching aids	@ Rs.2,000/- x 15 persons	30,000/00
3. Transportations	@ Rs.1,000/- x 44 days	44,000/00
4. Text Books	@ Rs.2,000/- x 15 persons	30,000/00
5. Meeting Expenses -		
Opening ceremony		
Closing ceremony	@ Rs. 750/- x 65 persons	48,750/00
6. Others (G.I., certificates, printing, etc.)	@ Rs. 500/- x 15 persons	7,500/00
Sub Total		215,250/00
Grand Total		1,632,450/00

Remark: Rs.1/- = 0.0324 US $

I. Training tools of ENG/EFP systems

(Aching Deputy Director General, S de Fonseka in charge of maintenance and training)

A.	Camera		
	Comprising;		
A－1	VTR in Camera (Betacam) PAL(3-Tube) without Lens	BVW-3AP	3 sets
A－2	Tripod for Outdoor use with carrying Case	16BV-SET	3 sets
A－3	Motorized Zoom Lens BW Max	J13 ×9B41RS	3 sets
A－4	Rechargeable Battery NI-Cad	NP-1	24 pcs
A－5	Battery Charger for NP-1 up to four NP-1S	BC-1WA	6 sets
A－6	AC Adaptor for BV-Series	AC-500CE	3 sets
A－7－1	Camera Adaptor for BVP-1/3 Series	CA-3	3 pce
A－7－2	VTR Composite/Component Adaptor for BVV-1 Series	VA-1VP	3 pcs
A－7－3	26PIN-26PIN Camera cable 2m	CCZ-2	3 pce
A－8	Accessories		3 sets
A－8－1	Battery Case for NP-1	DC-100	3 sets
B.	Wireless Microphons System		
	Comprising;		
B－1	UHF Transmitter 900MHz Detachable Antenna	WRT-27A	3 sets
B－2	Dynamic Microphone without Cable (Uni-directional)	F-760	3 pcs
B－3	UHF Sleeve Antenna for wireless Mic	AN-17	3 sets
B－4	UHF Portable Tuner for WRT-27	WRR-27	3 sets
B－5	Accessories		
	Comprising;		
B－5－1	Battery	AM-3	60 pcs
B－5－2	Tuner Attachment Kit for Betacam	BTA-27	3 sets
B－5－3	Carrying Case for WRT-27/WRR-27	SC-37	3 pcs
B－5－4	Battery	S-006P	3 pcs

C.	Playback System Comprising ;		
C − 1	Betacam Playback Unit PAL	BVW-20P	3 sets
C − 2	Battery Pack	NP-1	24 sets
C − 3	AC Adaptor for BV-Series	AC-500CE	3 sets
C − 4	Colour Video Monitor 9-inch Portable PAL/SECAM	PVM-9000ME	3 sets
C − 5	Rechargeable Battery Pack for KV-9000/PVM-9000ME	BP-80E(B)	6 sets
C − 6	Car Battery Cord for PVM-9000ME	DCC-16AM	3 pcs
C − 7	Carrying Cart W/Connecting Cables		3 sets
D.	Portable Light Comprising ;		
D − 1	Portable Battery Light with Accessories (including Battery and Charger)	UKB-2	6 sets
D − 2	Spare Lamp for UKB-2	HMI-200W	60 pcs
D − 3	Power Supply Unit for UKB-2	BI-200/E	6 sets
E.	Wireless Intercom System Comprising ;		
E − 1	Repeater Unit By Shinwa	SC-400NA	3 sets
E − 2	Duplex Hand -Free Radio Telephone By Shinwa	SH-400D	24 sets
E − 3	Head Set By Shinwa	ZP-110A	15 sets
E − 4	Battery & Charger for SF-400DA	SO984B	3 sets
F.	Editing System Comprising ;		
F − 1	Betacam Player (PLA)	BVW-10P	3 sets
F − 2	Betacam Editing VTR (PAL) with TBC	BVW-40P	3 sets
F − 3	Time Code Edit Control Unit for 2P-VTR/1 R-VTR	BVE-800	3 set
F − 4	Connecting Cable		3 set

F－5	Colour Video Monitor 13-Inch	PVM-1371QM	6 sets
F－6	Editing Console with Rack Mountion Metals		3 sets
F－7	Recesoary optional unit		3 set
F－8	Video/Audio Distributo		2 set
F－9	Operation Chair		8 pce
G.	Manual (English)		3 sets

II. Training tools of personal computors

(Director H.Fernand in charge of maintenance and training)

H. PERSONAL COMPUTER

(1)	APA IV with high resolution Colour Monitor	……	4 pcs
(2)	(a) Colour Printer/Plottor 80 Colume	……	2 pcs
	(b) Letter Quality Printer 132 Column	……	2 pcs
(3)	AVR 1 KVA 110V/240V	……	4 pcs
(4)	Software		
	(a) database d BASE III	……	1 pcs
	(b) BPS BVSINESS GRAPHICS	……	1 pcs
	(c) MS DOS	……	1 pcs
(5)	Floppy Disc MD 2HD	……	2 0 Boxes
	Printer paper 10″ (for 80 column)	…	2000pcs
	Printer paper 10″ (for 132 column)	…	2000pcs
	Ink Ribbon Cartridge (for 80 column)	……	2 4 pcs
	Ink Ribbon Cartridge (for 132 column)	……	2 4 pcs
	Tractor Feeder (for 80 column)	……	2 pcs
	Tractor Feeder (for 132 column)	……	2 pcs

テレビ放送技術（基礎）コース
研修員受入実績表（1962～1987）

国名＼年度	計	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87
〈アジア〉	171		12	13	7	12	14	6	8	8	7	7	4	4	3	4	4	7	5	5	6	9	5	6	4	5	6
インド	3			2																					1		
インドネシア	23		1	2	1	1	1	1		2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		1	1	1	1		
韓国	10					1	1		2	2		1	1	1	1												
カンボジア	1											1															
シンガポール	2			1														1									
スリランカ	9																		1	1	1	2	2			1	2
タイ	29		1	1	1	5	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1		1	1	1		1				
中国	2																				1	1					
中国（台湾）	17		2	1	1	1	6		1	2	2	1															
パキスタン	17			2	2	2	2				1		1	1					1	1		1	1	1			1
バングラデシュ	10															1	1	2	1	1		1		1	1	1	
ビルマ	6																				1	1		1	1	1	1
フィリピン	15		1	1	1	1	1	2	1		1					1		1			1	2					1
ブルネイ	1																										1
ベトナム	1								1																		
マレイシア	19		7	3	1	1	1	1	1			1					1	1						1			
モルディブ	3																	1			1			1			
ネパール	2																									1	1
モンゴル	1																									1	

テレビジョン放送技術（II）コース
研修員受入実績表

ネパール1

国名	87年度までの累計	実施回数（上段）及び年間（下段）					
		1	2	3	4	5	6
		82	83	84	85	86	87
（全地域）		10	11	10	10	8	
（アジア地域）	17	4	4	5	3	1	
ビルマ	2				1		1
インド	2		1		1		
インドネシア	3		1	1			
大韓民国	3	1		1			1
マレイシア	3			1		1	1
フィリピン	3	1	1	1			
シンガポール	2	1	1				
スリ・ランカ	1			1			
ブルネイ	1	1					
（中近東地域）	17	5	4	3	3	2	
エジプト	5	1	1	1	1	1	
イラン	1	1					
ジョルダン	3			1	1	1	
カタル	2	1	1				
サウディ・アラビア	2		1		1		
チュニジア	3	1	1	1			
（アフリカ地域）	6		1	1	1	3	
ガーナ	1					1	
ケニア	4		1	1	1	1	
ウガンダ	1					1	
（中南米地域）	9	1	2	1	3	2	
チリ	1	1					
ドミニカ共和国	2				1	1	
メキシコ	1					1	
パナマ	1		1				
パラグァイ	3		1	1	1		
ペルー	1				1		

教育テレビジョン番組基礎コース

研修員受入実績表

（単位：人）

国名	87年度までの累計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
		63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87
（全地域）	320	13	13	13	11	18	8	14	14	17	9	15	15	12	15	10	11	13	12	14	13	15	10	12	10	13
（アジア）	151	10	10	10	6	12	6	9	11	8	8	7	4	5	5	3	3	2	3	4	7	5	3	2	2	4
バングラデシュ	9											1	1		1	1	1	1	1	1	1					
ブータン																										
ビルマ	3	1																			1	1				
カンボディア	1										1															
中国	1																			1						
インド																										
インドネシア		1	1	1	1	1	1		1	1	1	1	1	1	1	1			1		1	1	1			
大韓民国	13					1		1	1	1	1	1	2	2	1	1		1								
北朝鮮																										
ラオス																										
マレイシア	9	2	2	2			1		1													1				
モルディブ	2																							1		1
モンゴル																										
ネパール	1																									1
パキスタン	9		2	2	2					1				1							1					
フィリピン	15	3	2	2	1	1	1	1	1		1			1											1	
シンガポール	4								1	1		1					1									
スリ・ランカ	7	1	1																	1	1	1	1			1
タイ	27	1	1	1	2	2	1	1	2	2	1	1			2		1		1	1	2	1	1	1	1	1
ヴィエトナム	10						2	2	2		2	2														
ブルネイ																										
台湾	20	1	1	2		7		4	2	2	1															
香港																										
マカオ																										
マラッカ																										
メコン																										
（中近東地域）	44	3	1		2	1	1	1	1	1	1	2	4	4	4	2	2	4	1	3	1	2		1	1	1
アフガニスタン	4	1												1			1	1								
アルジェリア																										
バハレーン																										

（注：列見出しは「実施回数（上段）及び年度（下段）」）

教育テレビジョン番組（II）コース
研修員受入れ実績表（1984～86）
教育テレビジョン番組コース（I）コース

（単位：人）

87	国名	87年度までの累積	1984	1985	1986	国名	87年度までの累積	1984	1985	1986
	（全地域）	27	8	8	11	（中近東地域）	4	0	2	2
	（アジア地域）	10	4	3	3	アフガニスタン				
	バングラデシュ	1	1			アルジェリア				
	ブータン					バハレーン				
	ビルマ					エジプト	1		1	
	カンボディア					イラン				
	中国					イラク				
	インド					イスラエル				
1	インドネシア	3	1	1		ジョルダン				
	大韓民国					クウエイト				
	北朝鮮					レバノン				
	ラオス					リビア				
	マレイシア	3	1		1	モロッコ				
	モルディブ					オマーン				
	モンゴル					カタル				
	ネパール					サウデイ・アラビア	1			1
	パキスタン	2	1	1		スーダン	1		1	
	フィリピン	1		1		シリア				
	シンガポール	1			1	テュニジア	1			1
	スリ・ランカ					トルコ				
	タイ	1			1	イエメン				
	ヴィエトナム					南イエメン				
1	ブルネイ	1				アラブ首長国連邦				
	台湾									
	香港					（アフリカ地域）	4	2	0	2
	マカオ					アンゴラ				
	マラッカ					ベナン				
						ボツワナ				
						ブルンディ				

ＴＶ放送関連コースへの参加研修員リスト（○印＝スリランカ人）

SRI LANKA (0030)

○	NAME	TRAINING SUBJECT	DURATION	PRESENT OCCUPATION: POST	PRESENT OCCUPATION: NAME OF ORGANIZATION	PRESENT OCCUPATION: ADDRESS	PRESENT OCCUPATION: TEL	RESIDENCE: ADDRESS	RESIDENCE: TEL	REMARKS
	MR.MOHAMED HILMY CADER (8002472)	(S) BROADCASTING MANAGEMENT (10)	1980 11/ 9 - 1980 11/23	DIRECTOR FIN ANCE	SRI LANKA BROAD CASTING CORPORA TION	TORRINGTON SQUARE COLOMBO 7 SRI LANKA		17 ZALESKI PLACE COLOMBO 10 SRI LANKA		(2)
○	MR.P. J. MERRIL AUGUSTUS COORAY (8002818)	TELEVISION BROADCASTING ENGINEERING (20)	1981 1/ 9 - 1981 3/30	TECHNICAL OF FICER	SRI LANKA BROAD CASTING CORPORA TION	TORRINGTON SQUARE COLOMBO 7 SRI LANKA		7/9 USWATTA CIRCULAR ROAD MORATUWA SRI LANKA		
○	MR.HEVAGE ROSHAND GAMINI SENARATNE (8002819)	TELEVISION BROADCASTING ENGINEERING (20)	1981 1/ 9 - 1981 3/30	TECHNICAL OF FICER	SRI LANKA BROAD CATING CORPORAT ION	TORRINGTON SQUARE COLOMBO 7 SRI LANKA		41. J.D.FERNANDO MAWATHA COLOMBO 10 SRI LANKA		
○	MR.MALABAGE GUNADASA (8002820)	TELEVISION BROADCASTING ENGINEERING (20)	1981 1/ 9 - 1981 3/30	TECHNICAL OF FICER	SRI LANKA BROAD CASTING COPRORA TION	P. O. BOX 574 TORRINGTON SQUARE COLOMBO 7 SRI LANKA		276/4 JAYANTHI MAWATHA HIMBUTANA ANGODA SRI LANKA		
○	MR.SAMATH PREMADASA LIYANAGE (8002821)	TELEVISION PROGRAMM PRODUCTION (20)	1981 1/ 9 - 1981 3/16	PRODUCER NEW SREELS	DEPARTMENT OF I NFORMATION	POLHENGODA ROAD KIRULAPONE COLOMBO 5		8 HIYAPE AVENUE MEDIHALA DEHIWELA SRI LANKA		
○	MR.H. AUSTIN WIMALATISSA PERER (8002822)	TELEVISION PROGRAMME PRODUCTION (20)	1981 1/ 9 - 1981 3/16	CAMERAMAN	DEPARTMENT OF I NFORMATION	KIRILLAPONE COLOMBO 5 SRI LANKA		12/2 ANANDA BALIKA MAWATA PAGODA KOTTE SRI LANKA		
○	MR.ROHANA TISSA LIYANASURIYA (8002823)	TELEVISION PROGRAMME PRODUCTION (20)	1981 1/ 9 - 1981 3/16	FILM DIRECTO R	DEPT. OF INFORM ATION	LIRILLAPONE COLOMBO-5 SRI LANKA		151/4 SAMAN MAWATHA NAWALA ROAD NUGEGODA SRI LANKA		
○	MR.LUCIAN DOUGLAS WICKREMASINGHE (8002996)	TELEVISION PROGRAMME PRODUCTION (20)	1981 1/14 - 1981 3/16		GOVERNMENT FILM UNIT	KIRILLAPONE AVENUE POLHENGODA COLOMBO 5 SRI LANKA		NO.4 1ST LANE GALPOTTA NAWALA RAJAGIRIYA SIR LANKA		
○	MR.MAHAMADDUMAGE P. HIRANTHA PERERA (8002997)	TELEVISION PROGRAMME PRODUCTION (20)	1981 1/14 - 1981 3/16	TECHNICAL AS SISTANT	GOVEERNMENT FI LM UNIT	GOVT. FILM UNIT KIRULAPONE AVENUE COLOMBO 5 SRI LANKA		504 PITAKOTTE KOTTE SRI LANKA		
○	MR.HUDALIGE DON MAHINDAPALA (8002998)	TELEVISION PROGRAMME PRODUCTION (20)	1981 1/14 - 1981 3/16	CINEMATOGRAP HER	DEPT. OF INFORM ATION	KIRULAPONE AVENUE POLHENGODA COLOMBO 05		NO.284 BIYAGAMA RD. PATTIYA KELANIYA SRI LANKA		

（ ）：研修員番号

(10)：個別
(15)：特別研修
(20)：集団
(22)：G・G
(24)：C／P
(26)：国際機関
(2)：準高級研修員
(3)：高級研修員

SRI LANKA (0031)

NAME	TRAINING SUBJECT	DURATION	PRESENT OCCUPATION				RESIDENCE		REMARKS
			POST	NAME OF ORGANIZATION	ADDRESS	TEL	ADDRESS	TEL	
MR. ELUPPITIMUDIANSEL (8002999)	TELEVISION PROGRAMME PRODUCTION (20)	1981 1/14 - 1981 3/16	ASSISTANT CAMERAMAN	DEPT. OF INFORMATION	KIRULAPONE AVENUE POLHENGODA COLOMBO 5 SIR LANKA		71 WARD PLACE COLOMBO 7 SRI LANKA		
MR. WANNAKUWATTAWADUGE S. E. FERNAND (8003000)	TELEVIOSN BROADCASTING ENGINEERING (20)	1981 1/14 - 1981 3/30	TECHNICAL ASSISTANT GRADE 1	SRI LANKA BROADCASTING CORPORATION	TORINGTON SQUARE COLOMBO 7 SRI LANKA		105/06 DE MELS ROAD LAZAPTHIYA MORATUWA SRI LANKA		
MR. RANJITH WIJAYANANDA EDIRI (8003001)	TELEVISION BROADCASTING ENGINEERING (20)	1981 1/14 - 1981 3/30	TECHNICAL AAISTANT	SRI LANKA BROADCASTING CORPORATION	COLOMBO 7 SRI LANKA		79 KANDUBODA DELGODA WP SRI LANKA		
MR. THENKUTTY THUSITHA S. MUNINDRADASA (8003002)	TELEVISION BROADCASTING ENGINEERING (20)	1981 1/14 - 1981 3/30	TECHNICAL ASSISTANT GRADE 2	SRI LANKA BROADCASTING CORPORATION	SLBC. TORRINGTON SQUARE COLOMBO 7 SRI LANKA		12/4 DHARMARAJA AVENUE DEHIWALA SRI LANKA		
MR. BERGARGE ANTHONY VICTOR J. BOLONNE (8003003)	TELEVISION BROADCASTING ENGINEERING (20)	1981 1/14 - 1981 3/30	TECHNICAL ASSISTANT	SRI LANKA BROADCASTING CORPORATION	COLOMBO 7 SRI LANKA		MAIN ST. ATURUGIRIYA SRI LANKA		
MR. TOTAGODA GAMAGE PREMASIRI PERERA (8003159)	(S) TELECOMMUNICATION DEVELOPMENT (10)	1981 2/22 - 1981 3/15		MINISTRY OF POSTS AND TELECOMMUNICATIONS	MINISTRY OF POSTS & TELECOMMUNICATIONS COLOMBO 1 SRI L		30 HENA ROAD MT. LAVINIA SRI LANKA		(2)
MR. B. D. H. J. MELLAWA (8003285)	(S) POSTAL EXECUTIVES (10)	1981 3/ 2 - 1981 3/15	SUPERINTENT	POSTAL DEPT. COLOMBO SRI LANKA	CENTRAL MAIL EXCHANGE COLOMBO SRI LANKA		SRILAK KOHALWILA ROAD DALUGAMA KELNIYA SRI LANKA		(2)
MR. HABARAGAMUGE SUMATHIPALA (8100094)	(C) TELEPHONE SWITCHING ENGINEERING (1) (10)	1981 4/ 4 - 1981 7/12	TELECOMMUNICATION ENGINEER	TELECOMMUNICATION DEPT. SRI LANKA	DIRECTOR OF TELECOMMUNICATION POST AND TLECOM HEADQUARTERS SRI		NO.4 HOSPITAL RD KALUTARA SRI LANKA		
MR. VIDHARSHANA PREMATHILAKA WIJA (8100234)	(C) CARRIER TELEPHONY ENGINEERING (10)	1981 4/28 - 1981 8/ 9	REGIONAL ENGINEER	TELECOMMUNICATION DEPT.	TELECOMMUNICATION DEPT. COLOMBO-1 SRI LANKA		REGIONAL TELECOMMUNICATION ENGINEERS QUARTS PERADENIYASRI LANKA		
MR. MOHAMMED CASSIM MOHAMED FAROUK. (8100203)	(C) INTERNATIONAL TELEGRAPH AND TELEPHONE SERVICES (10)	1981 4/30 - 1981 7/16	ASSISTANT CHIEF SUPERVISOR	OVERSEAS TELECOMMUNICATION SERVICE	OVERSEAS TELECOMMUNICATION SERVICE P.O.BOX 235 COLUMBO1 SRI		PETAWALAMULLA LANE COLOMBO-9 SRI LANKA		

( ): 研修員番号

(10): 集団 (15): 特別研修 (20): 個別 (22): G・G (24): C/P (26): 民間受託 (2): 中堅技術研修員 (3): 高級研修員

SRI LANKA (0032)

NAME	TRAINING SUBJECT	DURATION	PRESENT OCCUPATION: POST	PRESENT OCCUPATION: NAME OF ORGANIZATION	PRESENT OCCUPATION: ADDRESS	PRESENT OCCUPATION: TEL	RESIDENCE: ADDRESS	RESIDENCE: TEL	REMARKS
MR.KOHILAMULLA A. GNANARATNE (8100210)	(C) SATELLITE COMMUNICATION ENGINEERING (REGULAR) (10)	1981 4/30 - 1981 8/ 1	ENGINEER	MINISTRY OF POS T & TELECOMMUNI CATION	MINISTRY OF POST & TELECOMMUNICATION COLOMBO SRI LANKA		MIHIRA NIVITIGALA ROAD WETTEWA MATUGAMA SRI LANKA		
MR.E. M. T. EKANAYAKA (8100326)	(C) HYDROGRAPHIC SURVEY (10)	1981 5/ 7 - 1981 11/ 8	SENIOR HYDRO GRAPHIC SURV EYOR	SRI LANKA PORTS AUTHORITY	SRI LANKA PORTS AUTHORITY PO BOX 528 COLOMBO SRI LANKA		PEDIPOLA, UDUGAMPOLA, GAMPAHA SRI LANKA.		
MR.RUKMIN TISSA WIJEMANNE (8100437)	(C) TELEVISION BROADCASTING MANAGEMENT (10)	1981 5/ 7 - 1981 6/18	DIRECTOR ENG INEERING	SRI LANKA BROAD CASTING CORPORA TION	P.O.BOX 574 COLOMBO SRI LANKA		155/6 GALLE ROAD COLOMBO4 SRI LANKA		
MR.GAMANI PRASANNA WEERASINGHE (8100573)	(S) PORTS AND HARBOURS (10)	1981 5/19 - 1981 7/19	SUPERINTENDI NG ENGINEER PLANNING	SRI LANKA PORTS AUTHORITY	SRI LANKA PORTS AUTHORITY COLOMBO 1 SRI LANKA		40 CAMBRIDGE PLACE COLOMBO 7 SRI LANKA		
MR.N. W. AMARASEKARA (8100863)	(C) TELEPHONE OUTSIDE PLANT ENGINEERING (10)	1981 6/ 6 - 1981 9/13	REGIONAL TEL E. ENGINEER	POST & TELECOMM UNICATION DEPT.	POST & TELECOMMUNICATION HEAD QUARTERS COLOMBO 1		R.T.E.S. QUARTERS HATTON SRI LANKA		
MR.A. H. C. SILVA (8100958)	(C) WATER WORKS ENGINEERING (10)	1981 6/18 - 1981 9/18	ENGINEER	NATIONAL WATER SUPPLY & DRAINA GE BOARD	RATMALANA SRILANKA		LADDUWA NEEGAMA DHARGATOWN SRILANKA		
MR.HARTLEY FERNANDO (8101293)	(C) COLOR TELEVISION ENGINEERING (10)	1981 7/ 2 - 1981 10/ 5	ENGINEER IN CHARGE	SRI LANKA BROAD CASTING CORPORA TION	P.O.BOX 574 COLOMBO 7 SRI LANKA		NO.5 KATUKURUNDUWATTE ROAD MT. LAVINIA SRI LANKA		
MR.DON RUBERT WEERA SOORIYA (8101080)	(C) MICROWAVE COMMUNICATION ENGINEERING (1) (10)	1981 7/ 9 - 1981 10/11	SUPRENTENDIN G TELECOM EN GINEER	RELECOMMUNICATI ON DEPARTMENT	TELECOMMUNICATION HDQ DUKE STREET COLOMBO 1		21 SURANIMALA PLACE BALAPOKUNA RD COLOMBO 6		
MR.J. M. L. H. PEIRIS (8101141)	(C) RAILWAY ROLLING STOCK ENGINEERING (10)	1981 7/16 - 1981 10/26	TRANSPORTATI ON SUPERINTE NDENT	SRI LANKA GOVER NMENT RAILWAY	MOTIVE POWER DEPT. SRI LANKA GOVERNMENT RAILWAY DE MATAGODA CUL		NO.22 MAHAHUNUPITIYA NEGOMBO SRI-LANKA		
MR.RANMOTIEGE PIYADASA RATNASIRI (8101289)	(C) EDUCATIONAL TELEVISION PROGRAMME (10)	1981 7/16 - 1981 10/ 5	PRODUCER	SRI LANKA BROAD CASTING CORPORA TION	SRI LANKA BROADCASTING COLOMBO SRI LANKA		MAHARAMA MORATUWA ROAD SUWARAPOLA PILIVANDALA SRI LANKA		

( ): 研修員番号

(10): 集団
(15): 特別案件
(20): 単独
(22): G・G
(24): C／P
(26): 個別研修
(2): 中堅技術研修員
(3): 高級研修員

SRI LANKA (0034)

NAME	TRAINING SUBJECT	DURATION	PRESENT OCCUPATION				RESIDENCE		REMARKS
			POST	NAME OF ORGANIZATION	ADDRESS	TEL	ADDRESS	TEL	
MR.GUNAYANGODAGE HUBERT A. GUNASEK (8102784)	(C) HOUSING (10)	1981 10/29 - 1981 12/21	MANAGER	NATIONAL HOUSING & DEVELOPMENT AUTHORITY	P.O.BOX 1826 COLOMBO 2		15 FIRST LANE KALUKURUNDUWATIA SIRIMAL UYANA RATMALANA SRI LANKA		
MR.KANDIAH SIVAGNANAMPILLAI (8102811)	(C) TELEPHONE NETWORK PLANNING AND DESIGNING (10)	1981 10/29 - 1982 2/14	TELECOMMUNICATION ENGINEER	TELECOMMUNICATION DEPT.	TELECOMMUNICATION HEADQUARTERS COLOMBO SRILANKA		64/1CENTRE ROAD COLOMBO15 SRILANKA		
MR.VELUPPILLAI A. THIRUGNANASUNTHAR (8102977)	(S) BROADCASTING MANAGEMENT (10)	1981 11/15 - 1981 11/28	ASSISTANT DIRECTOR	SRILANKA BROADCASTING CORPORATION	INDEPENDANCE SQUARE COLOMBO SRILANKA		OASIS 16 INNERFAIRLINE ROAD DEHIWALA SRILANKA		(2)
MR.B. L. FERNANDO (8102844)	(C) PORT AND HARBOUR ENGINEERING (SENIOR COURSE) (10)	1981 11/16 - 1981 12/20	CIVIL ENGINEER	SRI LANKA PORTS AUTORITY	CHIEF ENGINEER DIVISION SRI LANKA PORTS AUTHORITY COLOMBO		11 DE SARAM PLACE COLOMBO 15		
MR.NIHAL AMARADASA ALVIS WEERAKKODI (8102973)	POLICE COMMUNICATION (20)	1981 11/19 - 1981 12/10		POLICE TRANSPORT COMMUNICATIONS DIVISION	IKRAMENPITA COLOMBO SRI LANKA		4A SUMMIT FLATS KEPPETIPOLA MAWATHA COLOMBO 5 SRI LANKA		(2)
MR.TUAN JOHAR NIZAM EKIN PALLIE (8103232)	(C) INTERNATIONAL TELEPHONE SWITCHING ENGINEERING (10)	1982 1/ 7 - 1982 3/27	TELECOMMUNICATION ENGINEER	OVERSEAS TELECOMMUNICATION SERVICE	BAHARAIN TELECOMMUNICATION COMPANY XT2-LINC P.O.BOX 14.MANAW		14/16 ARANAYA. ROAD. COLOMBO 91 SRILANKA		
MR.UPANANDA S. WIJESAKERE BASNAY (8103249)	(C) INTERNATIONAL DATA COMMUNICATION ENGINEERING (10)	1982 1/ 7 - 1982 3/22	ENGINEER TRANSMISSION	OVERSEAS TELECOMMUNICATION SERVICE	OTS PO BOX 235 COLOMBO SRI LANKA		217BATUWATTA RAGAMA SRILANKA		
MR.VALLIPURAM S. BALASUBRAMANIAM (8103342)	(C) RAILWAY SIGNAL ENGINEERING (10)	1982 1/14 - 1982 5/ 3	ENGINEER SIGNAL PLANNING	SRILANKA GOVERNMENT RAILAWAY	SRILANKA GOVERNMENT RAILWAY COLOMBO 10 SRI LANKA		148/16 BASE LINE ROAD COLOMBO		
MR.D.K.P. RATNASEKERA (8103419)	TV PROGRAMME PRODUCTION (20)	1982 1/28 - 1982 3/14	PRODUCER-SECTION NOT DECIDED	SRI LANKA RUPAVAHINI CORPORATION	REPAVAHINI HOUSE COLOMBO SRILANKA		NO.3 1ST LANE JAMBUGASMULLA ROAD NUGEGODA SRI LANKA		
MR.ARUNACHALAM MANICCAVASAGAR (8103166)	RADIO FREQUENCY MANAGEMENT AND MONITORING (24)	1982 2/25 - 1982 3/31	CHIEF ENGINEER	TELECOMMUNICATION DEPARTMENT	TELECOMMUNICATION HEADQUARTERS COLOMBO 1 SRILANKA 28989		278 2/1 DUPLICATION ROAD COLOMBO 3 SRILANKA		派遣中実習

( )：研修員番号
(10)：集団
(15)：特別枠
(20)：単独
(22)：G・G
(24)：C／P
(26)：国際機関
(2)：中高級研修員
(3)：高級研修員

SRI LANKA (0036)

NAME	TRAINING SUBJECT	DURATION	PRESENT OCCUPATION POST	NAME OF ORGANIZATION	ADDRESS	TEL	RESIDENCE ADDRESS	TEL	REMARKS
MR.D. S. DE SILVA JAYAWARDENA (8201074)	(C) COLOR TELEVISION ENGINEERING (1) (10)	1982 7/ 1 - 1982 10/10	SENIOR TECHNICAL OFFICER	SRILANKA RUPAVAHINI CORPORATION	P.O.BOX 2204 COLOMBO 7 SRI LANKA		NO.43 RAILWAY BUNGALOW MOUNT AVENUE BASELINE ROAD COLOMBO 10 SRI LANKA		
MR.D. HETTIARACHCHI (8201075)	(C) COLOR TELEVISION ENGINEERING (1) (10)	1982 7/ 1 - 1982 10/10	TECHNICAL OFFICER	SRILANKA RUPAVAHINI CORPORATION COLOMBO 7 SRI LANK	SRI LANKA RUPAVAHINI CORPORATION COLOMBO 7 SRI LA		NO.5 WILMOT.A.PERERA MAWATA WEWALA HORANA SRILANKA		
MR.H. K. C. GHANATILAKA (8201153)	(C) MICROWAVE COMMUNICATION ENGINEERING (10)	1982 7/ 1 - 1982 10/10	REGIONAL TELECOM ENGINEER	DEPARTMENT OF TELECOMMUNICATION	DEPARTMENT OF TELECOMMUNICATION COLOMBO 1		TUDAWA MATARA SRI LANKA		
MR.CECIL SIRI CHRISTINE PERERA (8201172)	(C) RAILWAY ROLLING STOCK ENGINEERING (10)	1982 7/15 - 1982 10/ 8		CEYLON GOVERNMENT RAILWAY SRI LANKA	157/2 AVERIWATTE ROAD WATTALA SRI LANKA		157 AVERIWATTE ROAD WATTALA SRI LANKA		
MR.R. SATHIYANATHAN (8201188)	(C) EDUCATIONAL TELEVISION PROGRAMME (10)	1982 7/15 - 1982 10/17	TELEVISION PRODUCER	SRI LANKA RUPAVAHINI TELEVISION CORPORATION	SRI LANKA RUPAVAHINI TELEVISION CORPORATION COLO		58 JAYBUGASHULLA ROAD NUGEGODA SRI LANKA		
MR.S. A. H. DE SILVA (8201326)	(C) TELEPHONE SWITCHING ENGINEERING (2) (10)	1982 7/22 - 1982 10/31	DISTRICT INSPECTOR TELECOMMUNICAT	TELECOMMUNICATION DEPARTMENT GOVERNMENT	TELECOMMUNICATION HEADQUARTERS LOTUS ROAD COLOMBO 1		RAMANEE 34/16 PURAN APPU RAJA MAWATHA MORATUWA SRI LANKA		
MR.A. SHANMUGARAJAN (8103087)	TELECOMMUNICATION OPERATIONS & MAINTENANCE (26)	1982 8/ 5 - 1982 8/18		DEPT OF TELECOMMUNICATION	TELECOM HEADQUARTER COLOMBO 1		ALEXANDRA ROAD COLOMBO 6		I T U
MR.W.L.H.WIJENAYAKE (8201357)	(C) RADIO FREQUENCY MONITORING (10)	1982 8/ 5 - 1982 9/30	ENGINEER	TELECOMMUNICATION DEPARTMENT SRI LANKA	TELECOMMUNICATION HEAD QUARTERS COLOMBO		14 KATUWAPITIYA ROAD NEGOMBO SRI LANKA		
MR.S.PALAMUTHUSINGAM (8201662)	WATER SUPPLY (24)	1982 8/ 8 - 1982 8/29	CHIEF ENGINEER	NATIONAL WATER SUPPLY AND DRAINAGE BOARD	RATMALANA SRILANKA		VADDUKODDAI WEST VADDUKODDAI SRILANKA		社会開発協力部
MR.N.D.PEIRIS (8201661)	WATER SUPPLY (24)	1982 8/22 - 1982 8/29	CHAIRMAN	NATIONAL WATER SUPPLY AND DRAINAGE BOARD	NATIONAL WATER SUPPLY AND DRAINAGE BOARD RATMALANA SRILAN		30/18 LONGDEN PLACE COLOMBO 7 SRI LANKA		社会開発協力部 (2)

( ): 研修員番号 (10): 集団 (15): 特別案件 (20): 単独 (22): G・G (24): C／P (26): 国際機関 (2): 中高級研修員 (3): 高級研修員

SRI LANKA (0038)

NAME	TRAINING SUBJECT	DURATION	PRESENT OCCUPATION POST	NAME OF ORGANIZATION	ADDRESS	TEL	RESIDENCE ADDRESS	TEL	REMARKS
MR.B. P. G. VITHARANA (8202897)	(S) BROADCASTING MANAGEMENT (10)	1982 11/14 - 1982 11/27	FINANCE MANAGER	SRI LANKA RUPAB AHINI CORPORATION	INDEPENDENCE SQUARE COLOMBO7 SRI LANKA		62/2A DHAMMADHARA MAWATHA RATMALANA SRI LANKA		(2)
MR.NELSON EDWARD RANASINGHE (8203030)	(C) INTERNATIONAL TELEPHONE SWITCHING ENGINEERING (10)	1983 1/ 7 - 1983 3/27	ENGINEER	OVERSEAS TELECOMMUNICATION SERVICE	P.O.BOX 235 COLOMBO SRI LANKA		P4 O.T.S POTHTHODE NEGOMBO SRI LANKA		
MR.RAYAPPU PATHINATHAN (8203249)	(C) RAILWAY SIGNAL ENGINEERING (10)	1983 1/13 - 1983 4/30	SIGNAL ENGINEER,	SRI LANKA GOVERNMENT RAILWAYS	SIGNAL ENGINEER'S OFFICE SIR LANKA GOVERNMENT RAILWAYS COLOMBO		NO.60 RAILWAY QUARTERS NAWALAPITIYA SRI LANKA		
MR.SANDRA MARAKKALA SOMADASA DE SILVA (8203547)	(S) POSTAL EXECUTIVES (10)	1983 2/27 - 1983 3/13	SUPERINTENDENT OF INVESTIGATIONS	DEPARTMENT OF POSTS	DEPARTMENT OF POSTS POST 2 TELECOMMUNICATIONS COLOMBO 1 SRI L		216/4 PANNUWA ROAD MAHARAGAMA SRI LANKA		(2)
MR.G. A. DE ZOYSA (8205392)	(S) TELECOMMUNICATION DEVELOPMENT (10)	1983 3/ 6 - 1983 3/19	ADDITIONAL SECRETARY	MINISTRY OF POST AND TELECOMMUNICATIONS	P.O.BOX NO.1675 LOTUS RD COLOMBO 1 SRI LANKA		5 ANDERSON ROAD COLOMBO 5 SRI LANKA		(2)
MR.T. SERASINGHE (8205672)	(C) TELEPHONE SWITCHING ENGINEERING (1) (10)	1983 4/ 1 - 1983 7/10	DISTRICT INSPECTOR OF TELECOMMUNICA	TELECOMMUNICATION DEPARTMENT	DIRECTOR OF TELECOMMUNICATION POST AND TELECOMMUNICATIO		35-"SUSITHA" SRI DHARMARAMA ROAD RATMALANA SRI LANKA		
MR.HUPE ARACHCHIGE PEMASIRI (8205846)	(C) INTERNATIONAL TELEGRAPH & TELEPHONE SERVICES(T (10)	1983 4/28 - 1983 7/11	SUPERVISOR TELEGRAPH & TELEX	OVERSEAS TELECOMMUNICATION SERVICE	P.O.BOX 235 COLOMBO SRI LANKA		257/60 RAHIL "RAHIL" BANDARANAIKEPURA MAWATHA KALAPALUWAWA RAJAGIRIYA SRI LANKA		
MR.GALAPPATHIGE AJITH DEVENDRA SILVA (8205847)	(C) SATELLITE COMMUNICATION ENGINEERING (REGULAR) (10)	1983 4/28 - 1983 7/31	ENGINEER	OVERSEAS TELECOMMUNICATION SERVICE	P.O. BOX 235 COLOMBO SRI LANKA		NO. 405/28 SAKKHPURA ROAD KOTTAWA PANNIPITIYA		
MR.MUDIYANSELAGE ALFRED WIJESURIYA (8205993)	(C) CARRIER TELEPHONY ENGINEERING (10)	1983 4/28 - 1983 8/ 7	ENGINEER	TELECOMMUNICATION DEPT.	TELECOMMUNICATION HEADQUARTERS COLOMBO 1		NO.356 WARAGODA KELANIYA SRI LANKA		
MR.RANKONDE MUDIYANSELAGE S. (8206111)	(C) HYDROGRAPHIC SURVEY (10)	1983 5/ 5 - 1983 11/ 9	HYDROGRAPHIC SURVEYOR	SRI LANKA PORTS AUTHORITY	SRI LANKA PORTS AUTHORITY COLOMBO-1 SRI LANKA		PAHALAWARADDANA ESTATE WELLAWA SRI LANKA		

( ) : 研修員番号

(10) : 集団　(15) : 特別設定　(20) : 個別　(22) : G・G　(24) : C／P　(26) : 国際機関　(2) : 中堅技術研修員　(3) : 高級研修員

SRI LANKA (0039)

NAME	TRAINING SUBJECT	DURATION	PRESENT OCCUPATION POST	NAME OF ORGANIZATION	ADDRESS	TEL	RESIDENCE ADDRESS	TEL	REMARKS
MR.HARTLEY FERNANDO (8300076)	(C) TELEVISION BROADCASTING MANAGEMENT (10)	1983 5/ 5 - 1983 6/17	DIRECTOR ENG INEERING	SRI LANKA RUPAV AHINI CORPORATI ON	P.O.BOX 2204 INDEPENDENCE SQUARE COLOMBO 7 SRI LANKA		5 KATUKURUNDUWATTE ROAD MT. LAVINIA SRI LANKA		
MR.SABARATNAM MAHADEVA (8300373)	TELEPHONE OUTSIDE PLANT ENGINEERING (26)	1983 5/31 - 1983 9/11	DISTRICT INS PECTOR OF TE LECOMM.	TELECOMMUNICATI ON DEPT. COLOMB O SRI LANKA	POST. TELECOMMUNICATION HEAD QURTERS BUILDING COLOMBO		NO. 5 CASTLE LANE COLOMBO 4 SRI LANKA		APT
MR.RADLEY CLAUDE RANJIT DISSANAYAK (8206457)	(C) TELEPHONE OUTSIDE PLANTENGINEERING (10)	1983 6/ 2 - 1983 9/11	ENGINEER CAB LES DEVELOPM ENT	DEPARTMENT OF T ELECOMMUNICATIO NS SRI LANKA	TELECOMMUNICATIONS HEADQUARTERS COLOMBO 1 SRI LANKA		147 SRI SARANANKARA ROAD DEHIWELA SRI LANKA		
MR.GALLEGE MERVYN OLIVER FERNANDO (8300252)	(C) WATER WORKS ENGINEERING (10)	1983 6/16 - 1983 9/16	PROJECT MANA GER	NATIONAL WATER SUPPLY AND DRAI NAGE BOARD	P.O.BOX 14 MT. LAVINIA SRI LANKA		183/1 SRI RAHULA MAWATHA KATUBEDDE MORATUWA SRI LANKA		
MR.D. K. W. BENERAGAMA (8300617)	TELEPHONE NETWORK (24)	1983 6/19 - 1983 7/14	CHIEF ENGINE ER	SRI LANKA TELEC OM DEPARTMENT	POST AND TELECOM HQ LOTUS ROAD COLOMBO 1		21 MAIN STREET WALANA PANADURA SRI LANKA		開発調査第二課 0357033 (2)
MR.S. MAHESWARAN (8300618)	TELEPHONE NETWORK (24)	1983 6/19 - 1983 7/14	ENGINEER EXT ERNAL PLANT PLANNING	SRI LANKA TELCO MMUNICATIONS DE PARTMENT	5TH FLOOR POSTS AND TELECOM H'QRS BLDG LOTUS ROAD COLOMBO 1		569/2 HAVELOCK ROAD COLOMBO 6 SRI LANKA		開発調査第二課 0357033 (2)
MR.G. D. J. WICKRAMASINGHE (8300760)	(C) COLOR TELEVISION ENGINEERING (1) (10)	1983 7/14 - 1983 10/16	ENGINEER	TV BROADCASTING	CHAIRMAN SLRC TERRINGTON SQUARE COLOMBO 7 SRI LANKA		SIRI METORA KUDA UDUWA HORANA SRI LANKA		
MR.S. P. JAYASUNDERA (8300761)	(C) COLOR TELEVISION ENGINEERING (1) (10)	1983 7/14 - 1983 10/16	SENIOR TECHN ICAL OFFICER	SRI LANKA RUPAV HINI CORPORATIO N	TORRINGTON SQUARE COLOMBO 7 SRI LANKA		522 KANITE ROAD UDAHAMULLA NUGEGODA SRI LANKA		
MR.S. K. G. SUMANASENA (8300686)	(C) EDUCATIONAL TELEVISION PROGRAMME (10)	1983 7/28 - 1983 10/16	PRODUCER	RUPAVAHINI CORP ORATION OF SRI LANKA	SRI LANKA RUPAVAHINI CIRPORATION INDEPENDENT SQUA		317 GONAHENA KADAWATHA SRI LANKA		
MR.R. G. W. RAJAPAKSA (8300899)	(C) TELEPHONE SWITCHING ENGINEERING (2) (10)	1983 7/28 - 1983 11/ 6	TELECOMMUNIC ATION INSPEC TORE	TELECOMMUNICATI ON DEPARTMENT	TELECOMMUNICATION CENTRE KALUTARA SRI LANKA		TELECOMMUNICATION CENTRE KALUTARA SRI LANKA		

( ): 研修員番号

(10): 集団 (15): 特別研修 (20): 中堅 (22): G・G (24): C/P (26): [illegible] (2): [illegible] (3): [illegible]

SRI LANKA (0040)

NAME	TRAINING SUBJECT	DURATION	PRESENT OCCUPATION POST	PRESENT OCCUPATION NAME OF ORGANIZATION	PRESENT OCCUPATION ADDRESS	PRESENT OCCUPATION TEL	RESIDENCE ADDRESS	RESIDENCE TEL	REMARKS
MR.M. SOMARATNA (8301635)	(C) RADIO FREQUENCY MONITORING (10)	1983 8/ 4 - 1983 10/19	TELECOMMUNIC ATION INSPEC TOR	TELECOMMUNICATI ON DEPARTMENT	TELECOMMUNICATION DEPARTMENT LOTUS RD COLOMBO 1		BOTHALEGOMA LUNUWILA SRI LANKA		
MR.SAMATH ROHANA KARAWERAARACHCHI (8301385)	(C) SATELLITE COMMUNICATION ENGINEERING (ADVANCED) (10)	1983 8/25 - 1983 11/ 7	STATION MAN AGER	OVERSEAS TELECO MMUNICATIONS SE RVICE	P.O.BOX 235 DUKE STREET COLOMBO 1 SRI LANKA		ROHANA BUNDUPITIYA DHARGA TOWN SRI LANKA		
MR.C. CHAMPIKA DE VASS GUNASEKERA (8301390)	(C) INTERNATIONAL TELEX COMMUNICATION ENGINEERING (10)	1983 8/25 - 1983 11/14	ENGINEER TEL EGRAPH TRANS MISSION	OVERSEAS TELECO MMUNICATION SER VICE	OVERSEAS TELECOMMUNICATION SERVICE DEPARTMENT OF TELECOMMUNIC		HILLAGAHAWATTE HUKAHOARA RD TALAWATUGODA SRI LANKA		
MR.MAHINDA PARAKRAMA DISSANAYAKE (8301639)	(C) SHIPPING BUSINESS (10)	1983 9/ 8 - 1983 11/10	SHIPPING EXE CUTIVE	CEYLON SHIPPING CORPORATION	P.O.BOX 1718 COLOMBO 1 SRI LANKA		NO.52/1 RAJAMAHATHA ROAD RATMALANA SRI LANKA		
MR.KANDIAH RUTNAM (8302492)	(S) HIGHWAY CONSTRUCTION (10)	1983 9/29 - 1983 11/20	EXECUTIVE EN GINEER	DEPT. OF HIGHWA YS	DEPARTMENT OF HIGHWAYS COLOMBO SRI LANKA		1/3/8 ANDERSON FLATS COLOMBO 5 SRI LANKA		
MR.NOEL E. H. D. KALPAWELA (8302128)	(S) PORTS AND HARBOURS (10)	1983 10/ 6 - 1983 12/ 4	CHIEF LAW OF FICER	SRI LANKA PORTS AUTHORITY	NO.19 CHURCH STREET COLOMBO SRI LANKA		NO.256/1 DAWATAGAHAWATTE NEGOMBO SRI LANKA		
MR.MALINDA SUNIL WIMALAGODARATNA (8302545)	(C) TELEPHONE NETWORK PLANNING AND DESIGNING (10)	1983 10/13 - 1984 1/29	SUPERINTENDI NG TELECOM E NGINEER	DEPT. OF TELECO MMUNICATIONS	TELECOMMUNICATION HEADQUARTERS LOTUS ROAD COLOMBO SRI LANKA		16 LADY EVELYN DE SOYSA ROAD IDAMA MORATUWA SRI LANKA		
MR.D. S. B. HETTIARACHCHI (8302831)	(C) SOIL ENGINEERING AND FOUNDATION (10)	1983 10/20 - 1983 12/20	DESIGN ENGIN EER	SRI LANKA PORTS AUTHORITY	SRI LANKA PORTS AUTHORITY P.O.BOX 528 COLOMBO SRI LANKA		265/2 ST. FRANCIS LANE DALUGAMA DELANIYA SRI LANKA		
MR.HEVA MAHATTUGE DAYANANDA (8302538)	(C) HOUSING (10)	1983 10/27 - 1983 12/19	TOWN PLANNER		URBAN DEVELOPMENT AUTHORITY SLUM AND SHANTY DIVISION 10TH FLOOR S.E.C		NO.15 MAHAMEGAWATTA MAHARAGAMA SRI LANKA		
MR.BASTIYANKORALAGE HENRY R. JAYASENA (8302248)	TV STUDIO ENGINEERING & PROGRAMME PRODUCTION (24)	1983 11/ 5 - 1983 12/18	DEPUTY DIREC TOR GENERAL	SRI LANKA RUPAV AHINI CORPORATI ON	P.O.BOX 2204 INDEPENDENCE SQUARE COLOMBO7		2719 PEPILIYANA RD NUGEGODA SRI LANKA		派遣第一課 02 (2)

( )：研修員番号

(10)：集団 (15)：特別案件 (20)：単独 (22)：G・G (24)：C／P (26)：国際機関 (2)：専門技術研修員 (3)：高級研修員

SRI LANKA (0041)

NAME	TRAINING SUBJECT	DURATION	PRESENT OCCUPATION: POST	PRESENT OCCUPATION: NAME OF ORGANIZATION	PRESENT OCCUPATION: ADDRESS	PRESENT OCCUPATION: TEL	RESIDENCE: ADDRESS	RESIDENCE: TEL	REMARKS
MR.CHARLES NAVARATNARAJAH (8303043)	(S) BROADCASTING MANAGEMENT (10)	1983 11/ 5 - 1983 11/19	DIRECTOR FINANCE	SRI LANKA BROADCASTING CORPORATION	P.O.BOX 574 TORRINGTON SQUARE SRI LANKA		36 FRANKFORT PLACE COLOMBO 4 SRI LANKA		(2)
MR.E. R. SIRIWARDENA (8303559)	ROAD NETWORK PLANNING (24)	1983 11/10 - 1983 12/ 5	MANAGER INFRASTRUCTURE DEVELOPMENT	GREATER COLOMBO ECONOMIC COMMISSION	16 SIR D.B.JAYATILLAKA MAWATA COLOMBO 1 SRI LANKA		21/1 WIJERAMA LANE OFF SRI DEVANANDA ROAD NAWINNA MAHARAGAMA SRI LANKA		開発調査第一課 0357006
MR.R. S. A. PEIRIS (8303560)	ROAD NETWORK PLANNING (24)	1983 11/10 - 1983 12/ 5	CHIEF ENGINEER	DEPT. OF HIGHWAYS	P.O.BOX 1720 LOWER CHATHAM ST. COLOMBO SRI LANKA		KALYANI 47 KIRIBATHGODA KELANIYA SRI LANKA		開発調査第一課 0357002
MR.L. IVAN FERNANDO GUNAWARANASURIYA (8302553)	FISHERY HARBOUR CONSTRUCTION (24)	1983 11/26 - 1983 12/21	CHIEF ENGINEER	CEYLON FISHERY HARBOURS CORPORATION	ROCK HOUSE LANE MUTWAL COLOMBO 15		115 HORANA ROAD WEKADA PANADURA SRI LANKA		業務第一課 0357604
MR.A. G. GUNASEKERA (8304376)	(C) INTERNATIONAL TELEPHONE SWITCHING ENGINEERING (10)	1984 1/ 5 - 1984 3/25							
MR.MADAPATHAGE BERNARDO RODRIGO (8304501)	(24)	1984 1/ 9 - 1984 1/21	DEPUTY DIRECTOR	OVERSEAS TELECOMMUNICATION SERVICE	DUKE STREET COLOMBO 1 SRI LANKA		22/4 POLHENGODA ROAD COLOMBO 5		開発調査第二課 0357043 (2)
MR.U. S. W. BASANAYAKE (8304713)	(24)	1984 1/ 9 - 1984 1/21	SUPERINTENDING ENGINEER	OVERSEAS TELECOMMUNICATION SERVICE	OTS P.O.BOX 235 COLOMBO		217 DATUWATTA RAGAMA SRI LANKA		開発調査第二課 0357043 (2)
MR.VICTOR UBAYASIRI (8303719)	(S) POSTAL EXECUTIVES (10)	1984 3/11 - 1984 3/24	SUPERINTENDENT OF MAILS	DEPT. OF POSTS	P AND T HEADQUARTERS COLOMBO 1 SRI LANKA		80/1 TEMPLERS ROAD MOUNT LAVINIA SRI LANKA		(2)
MR.ELIATHAMBY SIVAPATHAM (8305261)	(C) INTERNATIONAL TELEGRAPH & TELEPHONE SERVICES(T (10)	1984 4/26 - 1984 7/ 9	SUPERVISOR	OVERSEAS TELECOMMUNICATION SERVICE	OVERSEAS TELECOMMUNICATION SERVICE P.O.BOX 235 COLOMBO SRI		215 M-2-2 PARK ROAD COLOMBO 5 SRI LANKA		
MR.ERNEST AMARASINGHE (8305309)	(C) SATELLITE COMMUNICATION ENGINEERING (REGULAR) (10)	1984 4/26 - 1984 7/30	ENGINEER	OVERSEAS TELECOMMUNICATION SERVICE	P.O.BOX 235 COLOMBO SRI LANKA		161 COLOMBO RD DIVULPITIYA BORALESGAMUWA SRI LANKA		

( ):研修員番号

(10):個別 (15):特別案件 (20):単発 (22):G・G (24):C/P (26):国際機関

(2):中堅技術研修員 (3):高級研修員

SRI LANKA (0042)

NAME	TRAINING SUBJECT	DURATION	PRESENT OCCUPATION: POST	PRESENT OCCUPATION: NAME OF ORGANIZATION	PRESENT OCCUPATION: ADDRESS	PRESENT OCCUPATION: TEL	RESIDENCE: ADDRESS	RESIDENCE: TEL	REMARKS
MR.A. C. RASINI (8305578)	(C) PORT AND HARBOUR ENGINEERING (10)	1984 4/26 - 1984 9/ 4	CIVIL ENGINEER	SRI LANKA PORTS AUTHORITY	19 CHURCH STREET COLOMBO		52 WARD PLACE COLOMBO 7 SRI LANKA		
MR.MAHANDUWA ACHARIGE HITHRAPREMA (8305581)	(C) HYDROGRAPHIC SURVEY (10)	1984 5/ 3 - 1984 11/ 7	HYDROGRAPHIC SURVEYOR	SRI LANKA PORTS AUTHORITY	SRI LANKA PORTS AUTHORITY HYDROGRAPHIC SURVEY BRANCH P.		10B/42/L RADDOLUWA HOUSING SCHEME KOTUGODA SRI LANKA		
MR.A. H. R. W. ATTANAYAKE (8400121)	(C) TELEVISION BROADCASTING MANAGEMENT (10)	1984 5/ 3 - 1984 6/15							
MR.ESTHER RUKMANI AMARASEKERA (8305646)	(C) SOLID WASTE MANAGEMENT & NIGHT SOIL TREATMENT (10)	1984 5/24 - 1984 7/30	CHIEF		KANDY MUNICIPAL COUNCIL KANDY SRI LANKA		NO.4 RAJAPIHILLA TERRACE KANDY SRILANKA		
MR.A. D. S. DODANGODA (8400261)	TELEPHONE OUTSIDE PLANT ENGINEERING (26)	1984 6/12 - 1984 9/23	ENGINEER	MINISTRY OF POST AND TELECOMMUNICATIONS	DEPT. OF TELECOMMUNICATION LOTUS ROAD COLOMBO1		NO.147/1 PAGODA ROAD PITAKOTTE KOTTE SRI LANKA		APT
MR.CANDIAH GNANAINDRAN (8400717)	(C) TELEPHONE OUTSIDE PLANTENGINEERING (10)	1984 6/14 - 1984 9/23	ENGINEER EXTERNAL PLANT PLANNING	DEPT. OF TELECOMMUNICATIONS	DEPT. OF TELECOMMUNICATION LOTUS ROAD COLOMBO 1 SRI LANKA		7/12 HARISCHANDRA MAWATHA COLOMBO 6 SRI LANKA		
MR.VASANTHA VALLATHAMBY (8400741)	(C) WATER WORKS ENGINEERING (10)	1984 6/14 - 1984 9/14	CHIEF	STATE DEVELOPMENT AND CONSTRUCTION CORPORATION	NO.7 GREGORY'S AVENUE COLOMBO 7 SRI LANKA		POST OFFICE ROAD CHAVAKACHCHERI SRI LANKA		
MR.DON DAYAWANSA LIYANAGE (8401004)	(C) EDUCATIONAL TELEVISION PROGRAMME (1) (10)	1984 8/ 2 - 1984 10/23	P.O.BOX 2204 INDEPENDENCE SQUARE	SRI LANKA RUPAVAHINS CORPORATION	P.O.BOX 2204 INDEPENDENCE SQUARE COLOMBO 7 SRI LANKA		NO.265 RAJAMAHAVIHARA ROAD MIRIHANA KOTTE SRI LANKA		
MR.UDAWATTEGE DON RATNAWEERA (8401180)	(C) TELEPHONE SWITCHING ENGINEERING (2) (10)	1984 8/ 2 - 1984 11/11							
MR.WATTAGE CHANDRASIRI (8401177)	(C) BRIDGE ENGINEERING (10)	1984 8/16 - 1984 11/ 2	CHIEF ENGINEER	DEPT. OF HIGHWAYS	CHIEF ENGINEER'S OFFICE DEPT. OF HIGHWAYS MEDDAWATTE MATAR		ILANGAWATTA WATAREKA EAST GALLE SRI LANKA		

( ): 研修員番号

(10): 集団 (15): 特別案件 (20): 単独 (22): G・G (24): C/P (26): 国際開発 (2): 中堅技術研修員 (3): 高級研修員

SRI LANKA (0044)

NAME	TRAINING SUBJECT	DURATION	PRESENT OCCUPATION POST	NAME OF ORGANIZATION	ADDRESS	TEL	RESIDENCE ADDRESS	TEL	REMARKS
MR.MOHAN PAUWAPERUMA (8404616)	(C) INTERNATIONAL TELEPHONE SWITCHING ENGINEERING (10)	1985 1/10 - 1985 3/31							
MR.GHANESH K. COOMARASWAMY (8404617)	(C) INTERNATIONAL DATA COMMUNICATIONS ENGINEERING (10)	1985 1/10 - 1985 3/25	ENGINEER	OVERSEAS TELECOMMUNICATION SERVICES	OTS BUILDING DEPT. OF TELECOM COLOMBO SRI LANKA		412 LONGDON TERRACE COLOMBO 7 SRI LANKA		
MR.H. J. R. PERERA (8404098)	(C) COLOR TELEVISION ENGINEERING (2) (10)	1985 1/17 - 1985 3/11	TECHNICAL DIRECTOR	SRI LANKA RUPAVAHINI CORPORATION	SRI LANKA RUPAVAHINI CORPORATION TORRIGTON SQUARE		46/2 FERNANDS 2ND LANE UYANA MORATUWA		
MR.M. M. TIRAKARATNA (8405740)	(C) INTERNATIONAL TELEGRAPH & TELEPHONE SERVICES(I (10)	1985 4/25 - 1985 7/ 8	ORRICER IN CHARGE	OVERSEAS TELECOMMUNICATION SERVICE	P.O.BOX 235 COLOMBO SRI LANKA		46 SANGABO MAWATHA 2ND GALAWILA WATTE HOMAGAMA SRI LANKA		
MR.C. A. J. PERERA (8405741)	(C) SATELLITE COMMUNICATION ENGINEERING (REGULAR) (10)	1985 4/25 - 1985 7/29	ENGINEER	DEPARTMENT OF TELECOMMUNICATION (OVERSEAS TELECOM)	OVERSEAS TELECOMMUNICATION SERVICE DUKE STREET COLOMB		NO.24 7TH CROSS ROAD PANADURA SRI LANKA		
MR.LINDAMULAGE. RANSIMAL S. DE SI (8406044)	(C) HYDROGRAPHIC SURVEY (10)	1985 5/ 5 - 1985 11/ 6	SURVEYOR	SRI LANKA PORTS AUTHORITY	HYDROGRAPHIC SURVEY OFFICE SRI LANKA PORTS AUTHORITY COLOMB		119 HORANA ROAD PANADURA SRI LANKA		
MR.JINA PRASAD WEERASURIYA (8406036)	(C) MAINTENANCE & IMPROVEMENT ENGINEERING OFPERMANEN (10)	1985 5/ 9 - 1985 8/12	BRIDGE ENGINEER	SRI-LANKA GOVERNMENT RAILWAY	CHIEF ENGINEER'S OFFICE WAY 2 WORKS DEPT. SRI LANKA GOV. RAILWAY		NO.30 YURUPPU MAWATHA GORAKAPOLA PANADURA SRI LANKA		
MR.HECTOR WEERATUNGA (8406041)	(C) SURVEYING AND MAPPING (PLANNING AND MANAGEMENT) (10)	1985 5/ 9 - 1985 6/ 8	SUPERINTENDENT OF SURVEYS	SURVEY DEPT.	P.O.BOX 506 COLOMBO SRI LANKA		4016 WICKREMARATNA AVENUE PAPILIYANA NUGEGODA SRI LANKA		
MR.RANHOTIEGE PIYADASA RATNASIN (8500090)	(C) TELEVISION BROADCASTING MANAGEMENT (10)	1985 5/ 9 - 1985 6/21	ASSISTANT DIRECTOR		P.O.BOX 2204 COLOMBO SRI LANKA				
MR.H. G. TILAKARATNA (8406286)	(C) WATER WORKS ENGINEERING (10)	1985 5/16 - 1985 8/16	ELECTRICAL ENGINEER	NATIONAL WATER SUPPLY AND DRAINAGE BOARD	NATIONAL WATER SUPPLY & DRAINAGE BOARD RATMALANA SRIL LANKA		WATER SUPPLY SCHEME MULLERIYAWA SRI LANKA		

(   ): 研修員番号

(10): 個別　(15): 特別案件　(20): 単発　(22): G・G　(24): C／P　(26): 国際機関　(2): 中高級研修員　(3): 高級研修員

SRI LANKA (0045)

NAME	TRAINING SUBJECT	DURATION	PRESENT OCCUPATION POST	NAME OF ORGANIZATION	ADDRESS	TEL	RESIDENCE ADDRESS	TEL	REMARKS
MR.TUAN PUTHRA JAIN ANATH (8500091)	(C) SOLID WASTE MANAGEMENT & NIGHT SOIL TREATMENT (10)	1985 5/23 - 1985 7/29	CHIEF	LOCAL GOV.	GALLE MUNICIPAL COUNCIL TOWN HALL GALLE SRI LANKA		182B RICHMOND HILL RD GALE SRI LANKA		
MR.BOMIRIGE G. A. S. FERNANDO (8500644)	TELEPHONE OUTSIDE PLANT ENGINEERING (26)	1985 6/12 - 1985 9/22	REGIONAL MANAGER	TELECOMMUNICATIONS DEPT. OF SRI LANKA	RTE OFFICE MARADANA TELECOMMUNICATION		11 FATIMA ROAD KOCHCHIKADE SRI LANKA		APT
MR.ALUTHGE DON PREMADASA (8500787)	(C) TELECOMMUNICATION OUTSIDE PLANT ENGINEERIN (10)	1985 6/13 - 1985 9/22	DISTRICT INSPECTOR OF TELECOMMUNICA	TELECOMMUNICATION DEPT. OF SRI LANKA	TELECOMMUNICATION DEPT. SRI LANKA		SRI INDRASARA MAWATHA ARUGGODA ALUBOMULLA SRI LANKA		
MR.JANAKI KUMARI (8501329)	(C) DIGITAL SWITCHING SYSTEMS ENGINEERING (2) (10)	1985 8/ 1 - 1985 9/16	ENGINEER	DEPT. OF TELECOMMUNICATION SRI LANKA	DEPT. OF TELECOMMUNICATIONS LOTUS ROAD 1ST FLOOR COLOMBO		436 HIGH LEVEL ROAD GANGODAWILA NUGEGODA SRI LANKA		
MR.K. D. J. H. SENANAYAKE (8502916)	NATIONAL NETWORK PLANNING (24)	1985 8/ 5 - 1985 8/26	EXTERNAL PLANT PLANNING ENGINEER	SRI LANKA TELECOMMUNICATIONS DEPT.	P.O.BOX 503 COLOMBO SRI LANKA		NO.81 FAIDAWALA KATANA SRI LANKA		開発調査第二課 0359016
MR.D. P. H. SAMARASIRI (8502917)	NATIONAL NETWORK PLANNING (24)	1985 8/ 5 - 1985 8/26	ENGINEER	SRILANKA TELECOMMUNICATION DEPT.	P.O.BOX 503 COLOMBO SRI LANKA		133A PIYALI SEWANA PALLIYAPITIYA DUNAGAHA SRILANK A		開発調査第二課 0359016
MR.BAWA RALLAGE PODIRALAHAMY (8502918)	NATIONAL NETWORK PLANNING (24)	1985 8/ 5 - 1985 8/26	ENGINEER	SRI LANKA TELECOMMUNICATIONS DEP.	P.O. BOX 503, COLOMBO. SRI LANKA		SHANTHIPURA, KEHANA PALLEGAHA, SRI LANKA		開発調査第二課 0359016
MR.NELSON EDWARD RANASINGHE (8502434)	(C) RADIO FREQUENCY MONITORING (10)	1985 8/15 - 1985 10/12	ENGINEER	DEPARTMENT OF TELECOMMUNICATIONS	TELECOMMUNICATION HQS BUILDING LOTUS ROAD COLOMBO		P4, O.T.S. THIBIRIGASKATUWA NEGOMBO SRI LANKA.		
MR.SHANTHIKURAMA DE FONSEKA (8503388)	TV BROADCASTING TECHNIQUES (24)	1985 8/19 - 1985 10/29	DIRECTOR OF ENGINEERING	SRI LANKA RUPAVAHINI CORPORATION	P.O. BOX 2204 TORRINGTON SQUARE, COLOMBO 7, SRI LANKA		SWARNASIRI UYANKELAYA PANADURA, SRI LANKA		派遣第一課 02
MR.ANURADHA GUNASENA TUDOR GAHVARA (8501289)	RADIO TRANSMISSION TECHNIQUES & MULTIPLEXING (26)	1985 8/22 - 1985 12/15	ENGINEER	TELECOMMUNICATION DEPARTMENT	TELECOMMUNICATION TRAINING CENTRE MORETUDUWA, MORA		673/R. SEWWANDI. KANDEWATTE, BATTRARAMULLA , SRILANKA		ITU

( ): 研修員番号　(10): 集団　(15): 特別設定　(20): 単独　(22): G・G　(24): C/P　(26): 国際機関　(2): 中高級研修員　(3): 高級研修員

SRI LANKA (0048)

NAME	TRAINING SUBJECT	DURATION	PRESENT OCCUPATION: POST	PRESENT OCCUPATION: NAME OF ORGANIZATION	PRESENT OCCUPATION: ADDRESS	PRESENT OCCUPATION: TEL	RESIDENCE: ADDRESS	RESIDENCE: TEL	REMARKS
MR.K.T.D.YAGODA (8506654)	(C) WATER WORKS ENGINEERING (10)	1986 5/15 - 1986 8/15	CIVIL HALL COLOMBO 7 SRI LANKA	COLOMBO MUNICIPAL COUNCIL			246.IHALA YAGODA. IMBULGODA.SRI LANKA		
MR.H.G.PADMA PIYASEELI (8601158)	(C) MICROWAVE COMMUNICATION ENGINEERING (10)	1986 7/10 - 1986 10/19	INSPECTOR OF TELECOMMUNICATION	TELECOMMUNICATION DEPARTMENT	TELECOMMUNICATION CENTRE KALUTARA SRI LANKA		TELECOM.QUARTERS.TELECOMM		
MR.R.A.R.RABEL (8601161)	(C) RAILWAY ROLLING STOCK ENGINEERING (10)	1986 7/14 - 1986 10/ 6	MECHANICAL ENGINEER LOCOMOTIVES	SRI LANKA RAILWAYS	CME'S DEPARTMENT. SRI LANKA RAILWAYS , RATMALANA. SRI LANKA		121/5. JAMBUGASMULLA MAWATHA. NUGEGODA. SRI LANKA		
MR.JANAKA M.WITHANACHCHI GU (8601160)	(C) COLOR TELEVISION ENGINEERING (I) (10)	1986 7/21 - 1986 10/20	TECHNICAL OFFICER	RUPAVAHINI CORPORATION	TORRINGTON SQUARE COLOMBO 7 SRI LANKA		31 TEMPLER PLACE MOUNT LAVINIA SRI LANKA		
MR.HERATH MUDIYANSELAGE N.C (8602090)	(C) DIGITAL SWITCHING SYSTEMS ENGINEERING (ADVANCED) (10)	1986 7/31 - 1986 11/ 9	DISTRICT INSPECTOR OF TELECOMMUNI.	TELECOMMUNICATION DEPARTMENT SRI LANKA	TELECOMMUNICATION HEAD QUARTERS BLDG. LOTUS ROAD COLOMBO 1 SRI LA		25 SURANIYAGAMA BANDARAWELA SRI LANKA		
MR.IVEN GUNARATNA (8601513)	(C) CITY PLANNING (10)	1986 8/ 7 - 1986 10/18	TOWN PLANNER	URBAN DEVELOPMENT AUTHORITY	NO. 27. D.R. WIJEWARDENA MAWATHA COLOMBO 10 . SRI LANKA		NO. 430/178. KOTTE ROAD. PITTAKOTTE. SRI LANKA		
MR.W.A.U.MAHINDASIRI (8602493)	(C) RADIO FREQUENCY MONITORING (10)	1986 8/11 - 1986 10/ 4	TELECOMMUNICATION INSPECTOR	DEPT. OF TELECOMMUNICATION	DEPT. OF TELECOMMUNICATION LOTUS ROAD COLOMBO 1 SRI LANKA		K4 BUNGLOW MONITORING STATION KADIRANA NEGOMBO SRI LANKA		
MR.G.D.U.JAYAWARDENA (8601417)	(C) INTERNATIONAL TELEX COMMUNICATION ENGINEERING (10)	1986 8/25 - 1986 11/10	ENGINEER	OVERSEAS TELECOMMUNICATION SERVICE	P.O.BOX 235 OTS BUILDING COLOMBO SRI LANKA		JAYANUNA MORANA ROAD RAIGAMA BANDARAGAMA SRI LANKA		
MR.DON LIONEL WASANTHA TALAGALA (8602712)	(C) SHIPPING BUSINESS (10)	1986 9/ 8 - 1986 11/ 6	DEPUTY MANAGER	CEYLON SHIPPING CORPORATION	NO. 6. SIR BARON JAYATILAKE MAWATHA P.O. BOX 1718. COLOMBO. SRI LAN		85/38 KURUNDUWATTA. GONAWALA. SRI LANKA		
MR.PATHIRAGE DON PIYASISRI GUNARAT (8601159)	TV BROADCASTING PROGRAMMING (24)	1986 10/ 4 - 1986 11/ 2	DIRECTOR	SRI LANKA RUPAVAHINI (TV)CORPORATION	SLRC INDEPENDENT SQ COLOMBO 7		4/49 POLHENGODA ROAD COLOMBO 5 SRI LANKA		派遣第一課 02

(　　)：研修員番号

(10)：個別　(15)：特別案件　(20)：単独　(22)：G・G　(24)：C／P　(26)：国際機関　(2)：単独長期研修員　(3)：高級研修員

TV放送技術(基礎)87'

No.	Country	Name of Participant	Age	Present Post	Home Address
10	Nepal	Mr. Sanjay Rijal	26	Officer, Studio Control Room, Nepal TV Corporation	2/110, 'Hari Bhawan', Teen Paini, Biratnagar, Koshi Zone
11	Pakistan	Mr. Abdul Majeed	40	Engineer, Pakistan TV Corporation	12-Gunners Lane, Mall Road, Peshawar Cantt: NWFP
12	Peru	Mr. Lucio Roberto Carrasco	36	Chief of Planning & Installation, Peruvian Broadcasting Corporation	Jose Galvez 1040, Santa Beatriz, Lima
13	Peru	Mr. Benjamin Chonlon Davila	34	Engineer of Radiocommunications, General Direction of Telecommunications Ministry of Transport and Tele-communications	Sabandia No. 759 URB, Villacampa - Rimac
14	Philippines	Mr. Candido M. Cruz Jr.	36	Chief, TV Maintenance, Republic Broadcasting System	Block 2, Lot 23, Diamond Villedge, Novaliches, Quezon City
15	Senegal	Mr. Ababacar Niang	51	Chief of TV Technique Service, Radios & TV Broadcast of Senegal	117, Gibraltar I, Dakar
16	Sri Lanka	Mr. Mohamad Mazahir Hassim	32	Senior Technical Officer, Independent TV Network Ltd.	No. 28/20, Buthgamuwa Road, Welikade
17	Sri Lanka	Mr. D.G.M.R.F.J. Fernando	36	Senior Technical Officer, Sri Lanka Rupavahini Corporation	M.R. Fernando, c/o Post Master, Post Masters Quarter's Nugegoda
18	Thailand	Mr. Chaveng Wangpuchakane	36	Chief of VTR & Telecine Room, TV Thailand Channel 11	285 Sang Chan Lane, Yannawa, Bangkok 10120

No.	Country	Name	Date of Birth (Age)	Present Post	Final Education	Home Address
9	México	Mr. Neftali Enrique Penaflor Valdez	Mar. 6, '55 (32)	Producer, Secretaría de Educación Pública Dirección General de Publicaciones Y Medios	ENEP ACATLAN UNAM *Mass Media	Av. Teotihuacan 334-1 Col. Romana, Tlalnepantla Edo. Mexico
10	Nepal	Ms. Saraswati Shrestha	Mar. 25, '57 (30)	Production Officer, Nepal Television	Santo Thimi Campus *Education	18/61 Balukha, Lalitpur Kathmandu, Nepal
11	Paraguay	Mr. Reinaldo Alfredo Martinez Vera	Mar. 15, '52 (34)	Programme Director, Department of Teleducation, Ministry of Education and Culture	Universidad Catolica *Science of Communication	15 of August 1785, Asuncion, Paraguay
12	Saudi Arabia	Mr. Saleh Ali Al-Ghamedi	1946 (41)	News and Programme Director, T.V. News Department Ministry of Information	King Saud University *Information	Saudi T.V. Ruyadh P.O. Box 570 Saudi Arabia
13	Senegal	Mr. Boubacar Ba	1951 (36)	Producer, Office de Radiodiffusion Television du Senegal	Ecol Secondary School	Sicap Liberte VI Dakar, Senegal
14	Sri Lanka	Ms. Mallika Appuhamillage Chandra Manthriratne Jayatillake	Oct. 24, '52 (34)	Producer, Sri Lanka Rupavahini Corporation	University of Sri Jayawardanapura *General Science	35/1, Polhengoda Road Colombo 5, Sri Lanka
15	Thailand	Ms. Vipha Utamachant	May 20, '46 (41)	Faculty Member, Faculty of Communication Arts, Chulalongkorn University	Harvard University *Arts & Science	(Office Address) Faculty of Communication Arts, Chulalongkorn University Bangkok 10500, Thailand
16	Uganda	Ms. Sarah Male	Jan. 22, '59 (28)	Senior Television Producer, Ministry of Information and Broadcasting	Makerere University *Political Science & Public Administration	Directorate of Educational Broadcasting, P.O. Box 7142 Kampala, Uganda

JICA